

②
ポイント

メシアの聖誕②

「地上に輝く
神の栄光」

～羊飼いの天使の知らせ～



【今日のアウトライン】

0. 神の栄光と 救いの計画

I. イエスの誕生

II. 羊飼いへの告知

III. 幼子メシアの礼拝

IV. まとめと適用

羊飼いたちのように
身をもって
主の約束を味わおう





0. 神の栄光と救いの計画
～すべては十字架に向かって～

創世記1:3

「神は仰せられた。『光があれ』すると光があった。

この光は、

神の栄光の光

“シャカイナ・グローリー”

世界は、神の栄光に満ち、

人は、神の栄光と共に住んでいた。

しかし、人が、神の約束を破り、罪を犯した時、神の栄光は、人から去ってしまった。



聖書の最大のテーマは、

「神の栄光」

(「シャカイナグロリー」)

その地上での喪失と回復

天地創造

創世記1章1節

地の再創造(エデン)

創世記1章3〜2章3節

天使の墮落→

キリストの十字架

最初のアダムの墮落→

最後のアダムの再臨←

キリストによる最後の裁き←

千年王国(エデンの回復)

現在(教会時代)

新天新地

黙示録21〜22章



神は、人間を見捨てず、メシアを送ると約束された。

【原福音】 創3:15

「お前と女、お前の子孫と
女の子孫の間に
わたしは敵意を置く。
彼は お前の頭を砕き
お前は 彼のかかとを砕く。」



メシアは、神の栄光そのものとして来られ、
信じる者に、神の栄光を回復してくださる。

人間は、罪を重ね、
自ら神になろうとし、
神に背き続けた。

人間の良心も、人間の
国家も、地上に平和
をつくりだすことはでき
なかった。



神は、アブラハムという無名の人物を選び、約束された。

「地上の氏族はすべて
あなたによって祝福に入る。創12:3」

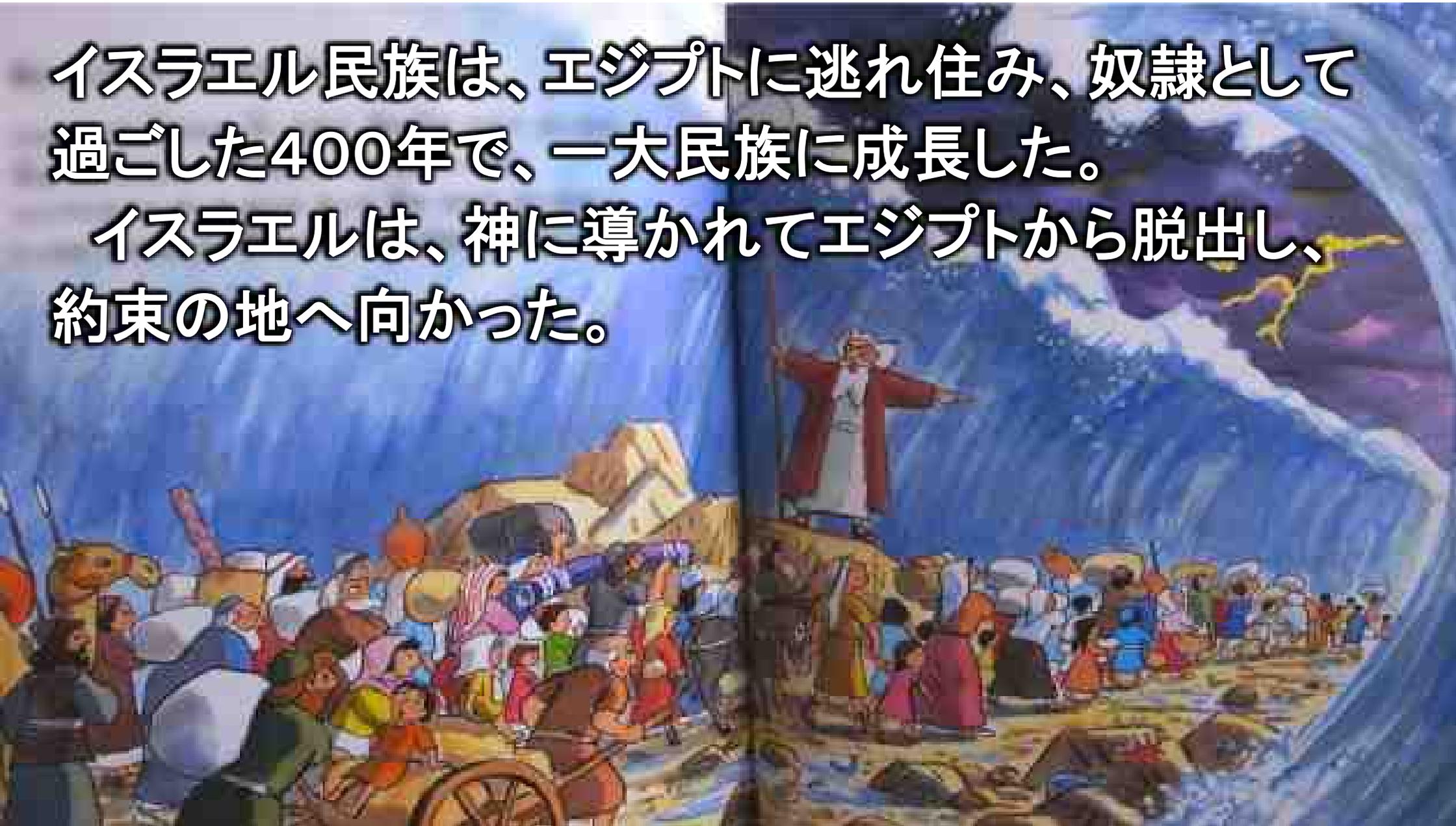
一人の人から、一つの民族を生み、
その子孫から、メシアを誕生させ、
人類を救いに導く。それが神の計画。

アブラハム、二代目イサク、三代目ヤコブ。
ヤコブから12人の息子が生まれ、
イスラエル12部族の先祖となった。



イスラエル民族は、エジプトに逃れ住み、奴隷として
過ごした400年で、一大民族に成長した。

イスラエルは、神に導かれてエジプトから脱出し、
約束の地へ向かった。

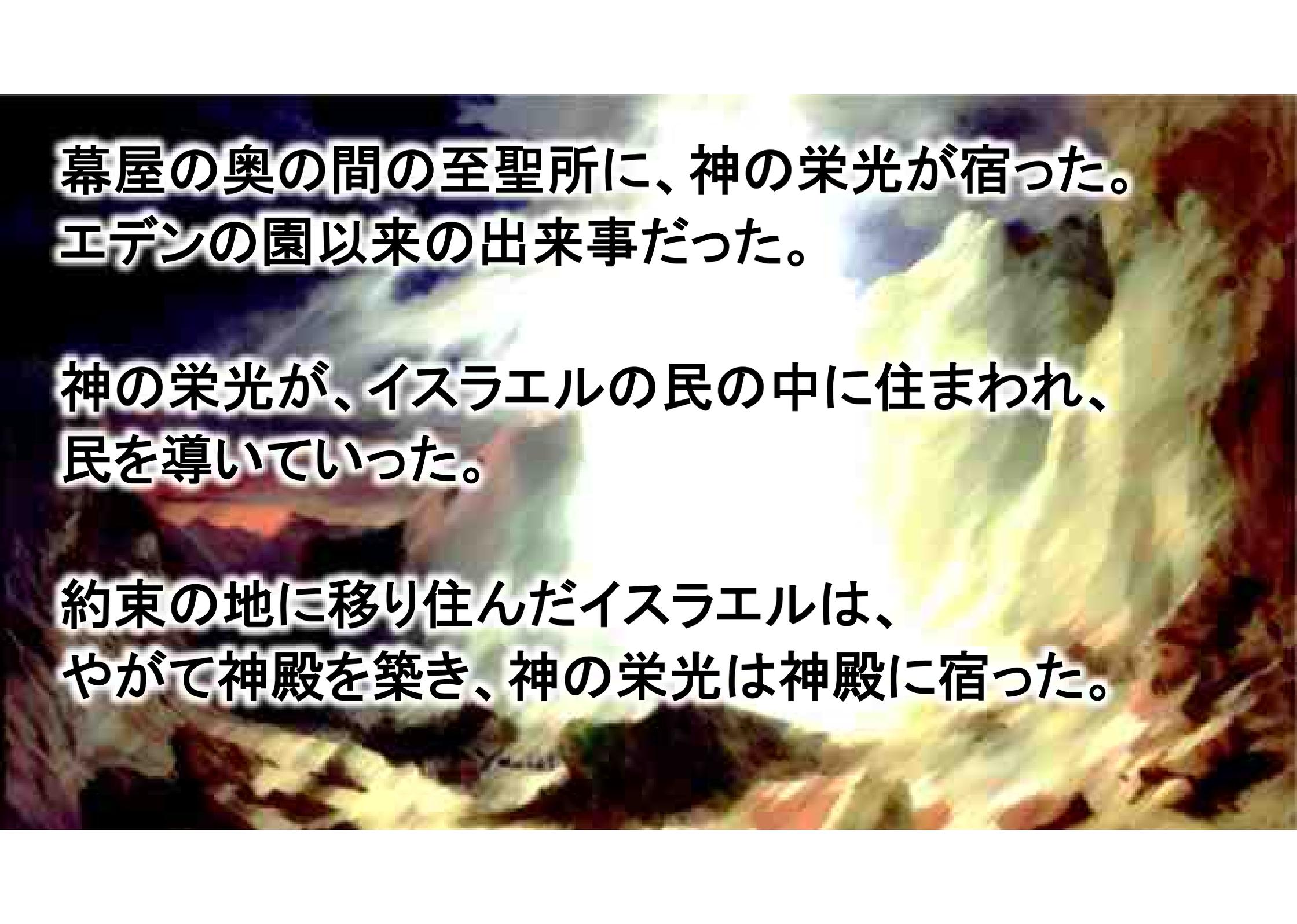


神は、シナイ山で、ご自身の栄光を表され、
イスラエルに律法を与えた。

民は、神の命令に従い、
主に言われたままに、
テントの神殿である
幕屋を建てた。

幕屋が完成したその時...





幕屋の奥の間の至聖所に、神の栄光が宿った。
エデンの園以来の出来事だった。

神の栄光が、イスラエルの民の中に住まわれ、
民を導いていった。

約束の地に移り住んだイスラエルは、
やがて神殿を築き、神の栄光は神殿に宿った。

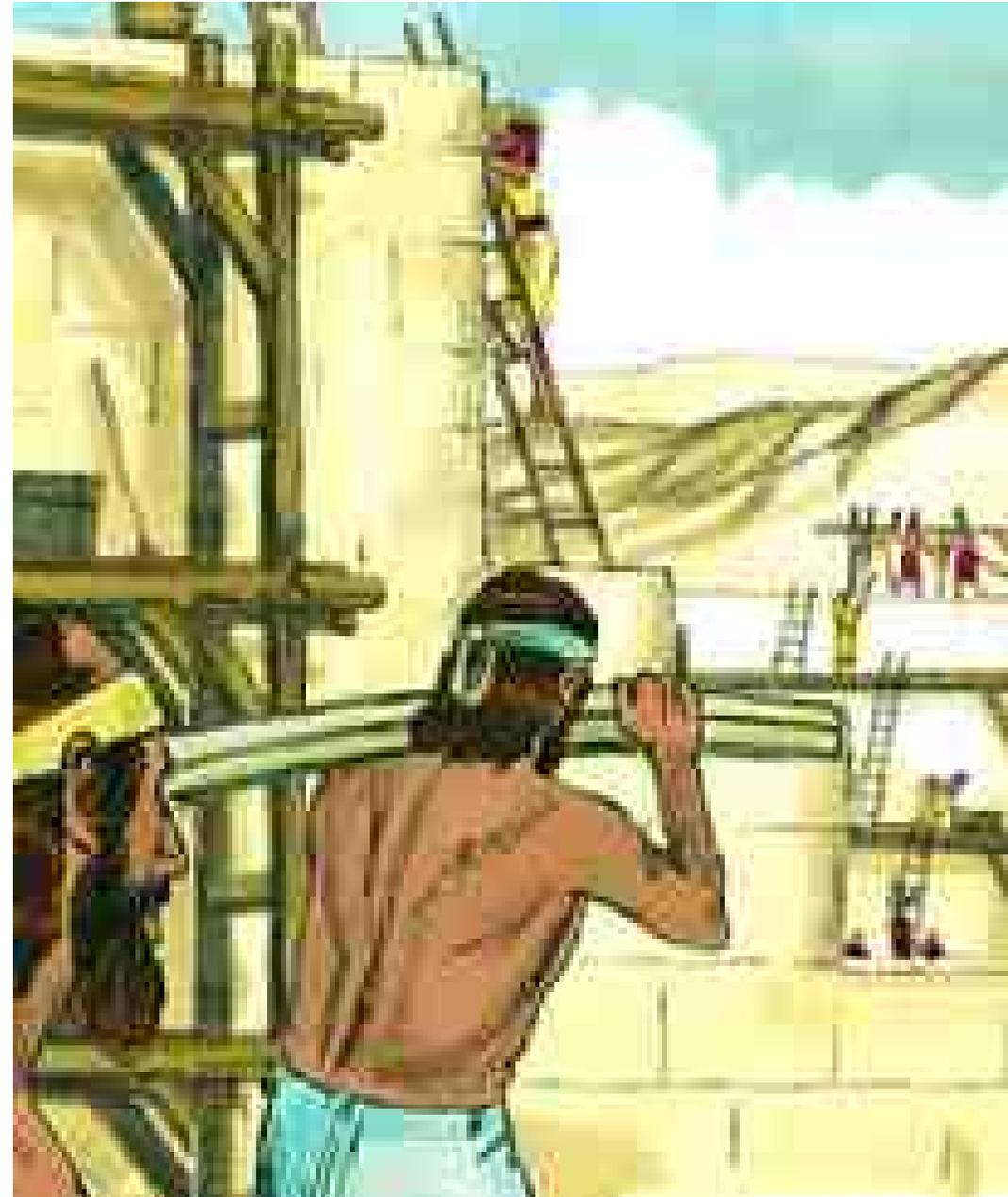
しかし、イスラエルは、神に背き、偶像礼拝に陥った。
民の罪の末に、神の栄光は、神殿を去ってしまう。
ついに、エルサレムは、神殿もろともバビロニアに
滅ぼされた。人々は捕囚として連れて行かれた。



70年後、イスラエルは捕囚から解放された。

人々は少しずつエルサレムに帰還し、神殿を再建した。

しかし、再建した神殿に、神の栄光はなかった。



苦しみの中でも、イスラエルに残っていた信仰者を通し、メシアのことが、少しずつ明らかにされていった。

メシアは、

...イスラエルのユダ族から生まれる。創40:10

...ダビデ王の子孫から生まれる。サム下7:12

...ベツレヘムで生まれる。ミカ5:1

...処女(しよじよ)から生まれる。イザヤ7:14

メシアが、神の栄光を地上に回復される。

I. イエスの誕生

ルカ2:1~7



【住民登録】 ルカ1:1~2

2:1 そのころ、全世界の住民登録をせよ*という勅令が、皇帝アウグスト*から出た。

2:2 これは、クレニオがシリアの総督であったときの最初の住民登録であった。

* 徴税のためにローマ全土で人口調査を実施。

* **アウグスト** ...「大いなる者」(称号)

・カエサルの死後、ローマ帝国初代皇帝に。

・名は、オクタヴィアヌス

⇒彼の名から、8月がAugustと変更された。

* **クレニオ**総督の二期目の時。



【ベツレヘムへの帰郷】 ルカ1:3～5

2:3 それで、人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に向かって行った。

2:4 ヨセフ*もガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘム*というダビデの町へ上って行った。彼は、ダビデ*の家系であり血筋でもあったので、

2:5 身重になっているいいなずけの妻マリヤもいっしょに登録するためであった。

* **ヨセフ**は、人口登録のため、マリアを連れて先祖ダビデの町ベツレヘムへ帰郷した。

* **ベツレヘム**⇒エルサレムの南8kmにある小さな町。

* **ダビデ**は、イスラエルの偉大な王。

その子孫からメシアが誕生すると預言されていた。



【成就したミカ書*5章2節の預言】

ベツレヘム・エフラテよ。
あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、
あなたのうちから、わたしのために、
イスラエルの支配者になる者が出る。
その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。

*ミカは、イザヤと同時代の北王国の預言者

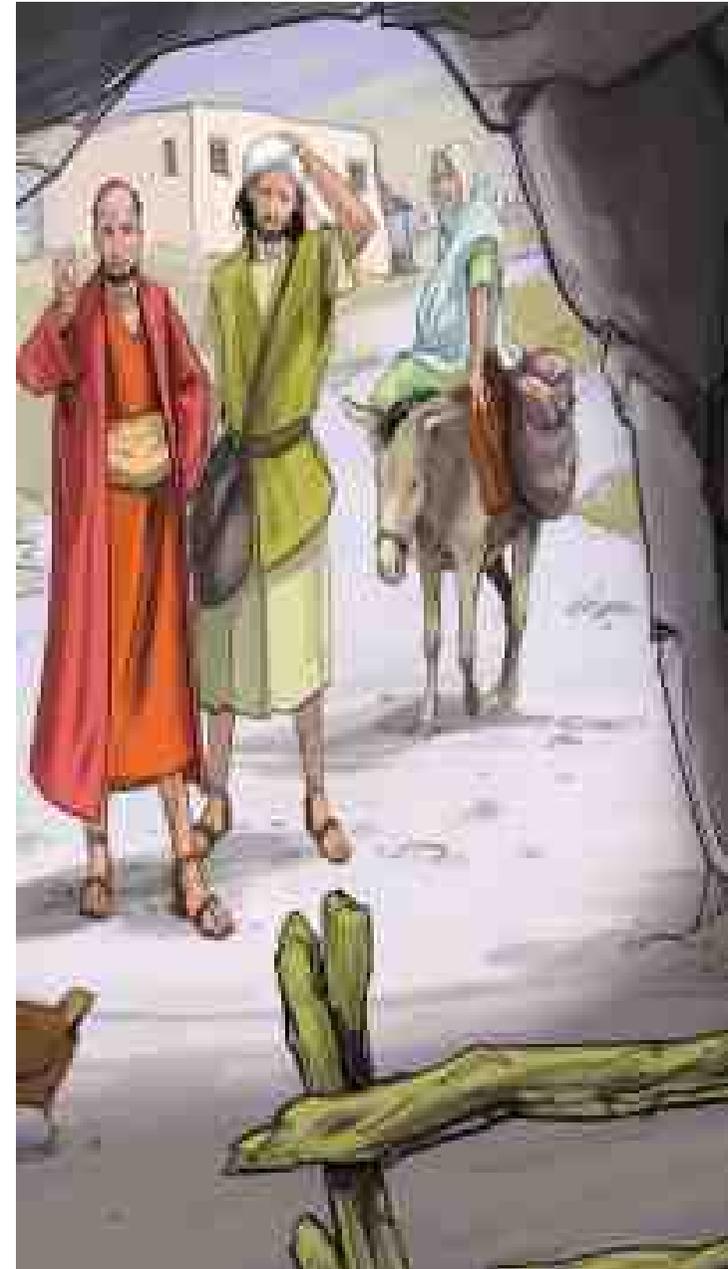
【イエスの誕生】 ルカ1:6~7

2:6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリヤは月が満ちて、男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋*には彼らのいる場所がなかったからである。

* **宿屋** ⇒カタリュマ。客間(口語訳)。

最後の晩餐の部屋も、カタリュマ。

- この時代、宿屋は都市にしかなかった。
誰かの家に泊めてもらうのが、一般的!!
- この地方には石灰岩の天然の洞窟が多く、
家畜小屋や墓地として使用されていた。



Ⅱ. 羊飼いの告知 ルカ2:8~14

エルサレムから見たベツレヘム
羊飼いの野

【ベツレヘムの羊飼いたち】 ルカ2:8～

さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿*で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。

* **野宿** ⇒ 温暖なイスラエルでは、
一年中、羊を追う羊飼いの姿が!!
雨期の12月は、むしろ放牧の季節。

■ ベツレヘム近郊では、神殿で献げるための子羊を飼っていたらしい?!

■ 過越祭で献げる子羊も飼っていた?

■ 洞窟の家畜小屋は、彼らの所有?



【羊飼いを職業にしていた聖徒たち】

■ アダムの息子アベル

■ イスラエルの祖先アブラハム⇒イサク⇒ヤコブ
⇒ヤコブの12人の息子たち

■ 偉大な王ダビデは、ベツレヘムに住む
羊飼いや一家の末っ子だった。

■ しかし、2千年前のイスラエルでは、
羊飼いは、蔑まれる存在になっていた。

■ 律法を学ばず?!、口伝律法に従わず、
無知で、貧しく、嘘つきと呼ばれ....。

その羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされる



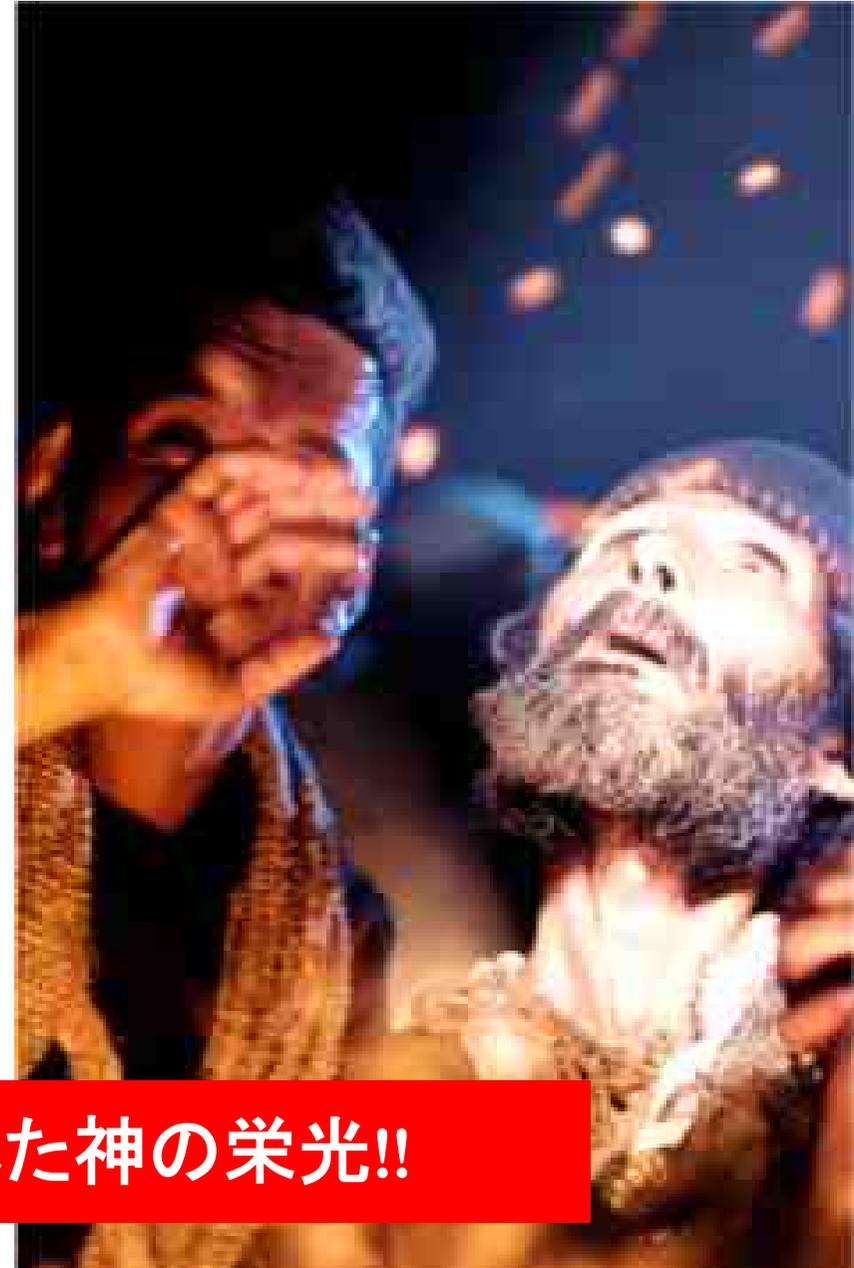
【天使の出現】 ルカ2:9～

すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光*が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。

* 主の栄光 ...シャカイナグローリー

■ イスラエルが偶像礼拝に陥った
預言者エゼキエルの時代に、
神殿を去った主の栄光。

実際に、500年ぶりに地上に現れた神の栄光!!



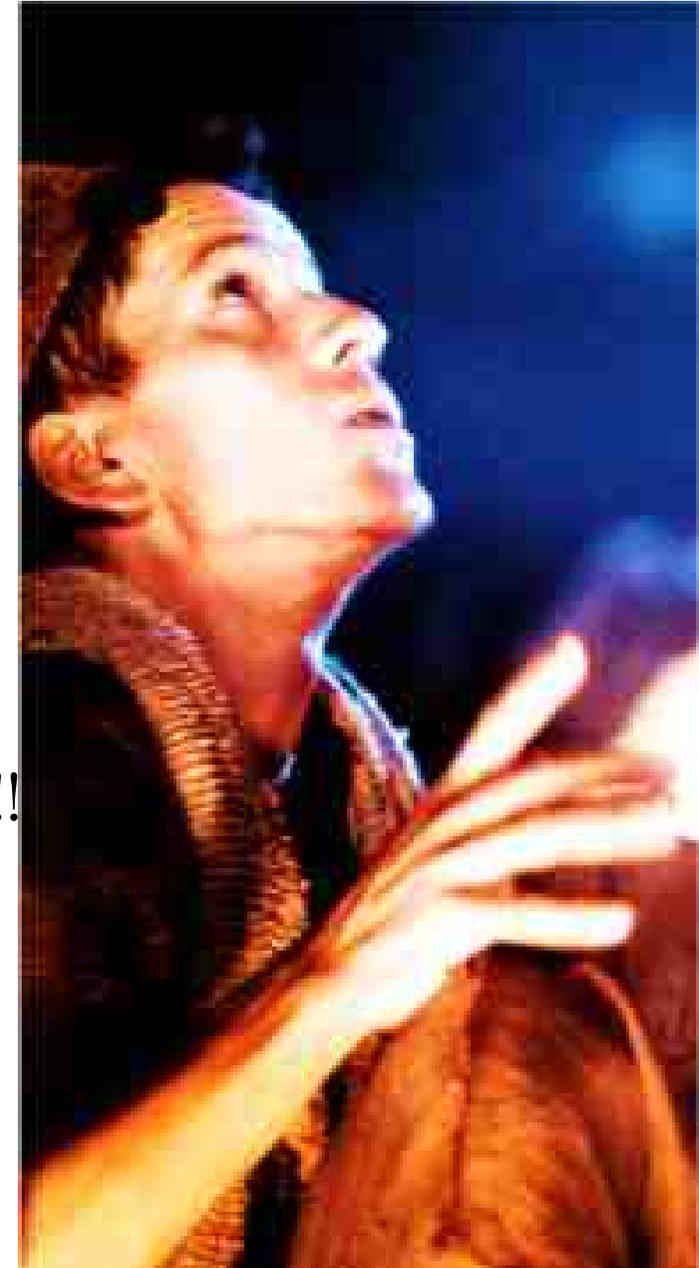
【天使の出現】 ルカ2:10~11

「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょう*ダビデの町で、あなたがたのために、救い主*がお生まれになりました。この方こそ主キリスト*です。」

* きょう ⇒ いにしえからの神の預言が成就した!!
歴史的瞬間を告げる言葉!!

* 救い主 = メシア = キリスト

* 主キリスト ⇒ ヤハウエ(神)なるキリスト!!
キリストは、人となられた神であるということ!!



【告げられたしるし】 ルカ2:12

「あなたがたは、布にくるまって*
飼葉おけに寝ておられるみどりごを
見つけます。これが、あなたがたの
ためのしるしです。」



* 布にくるんで ⇒ 当時の習慣。

死者の埋葬時も布で包んだ。

* 飼い葉桶 ⇒ この地方では、石製が一般的。木は貴重。

* しるし ⇒ 特異な姿だから、しるしとなる。

■ 天然の洞窟が多く、家畜小屋や墓地として使用されていた。

⇒ 家畜小屋も、羊飼いたちの所有？

A photograph of an ancient burial site. The scene is dimly lit, showing a stone platform and a stone coffin. The platform is a large, flat, rectangular stone slab. The coffin is a tall, narrow, rectangular stone structure with a pointed top. The background is a rough, textured wall of earth or stone.

遺体の安置台

石棺

【当時の埋葬】

- ・墓地には、埋葬のための亜麻布があった。
- ・遺体は、布で巻かれ、1年安置された後、残った骨を石棺(骨壺)に移した。

【しるしに現れたメシアの使命】

布で巻かれ、
石の飼い葉桶に寝かされたメシア

その姿は、葬られる死者のよう!!

“イエス・キリストは、
私たちの罪を贖う犠牲の小羊として
十字架で死なれるために誕生された”



【人となられた神】 ピリピ2:6～8

「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。

人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。」



【天使たちの賛美】 ルカ2:13～14

すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢*が現れて、神を賛美して言った「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように」

* 天使たちの大軍勢が出現し、神の平和が宣言され、賛美が献げられた。

★神の栄光が、メシアとして地上に現れた。
信じる人々に、神との平和がもたらされる。





【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:15～16

御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。

「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」

そして急いで行って*、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごとを捜し当てた。

* **急いで** ⇒ただちに行動に移した羊飼いたち
場所の目星もついていた?!

■ 告知通りの幼子を見つけた羊飼いたち。

■ 主に従い、遣わされたからこそ、

メシアを見つけ出し、出会うことができた!!



【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:17～19

それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について告げられたことを知らせた*。それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに驚いた*。しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。

- * **知らせた** ...メシアについて主が告げた通り
⇒私たちの伝道の原則も同じ!!
- * **驚いた** ...人々が信じた、とはない。
⇒メシア誕生の知らせは広がらなかった。
- * **思い巡らす** ...人々よりは、ずっとましたが、メシアの使命をまだ理解できないマリヤ。



【羊飼いたちの帰還】 ルカ2:20

「羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので*、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。」

* 御使いの話どおり ⇒それが神の約束だと確認した。
羊飼いたちは、預言の成就を目の当たりにし、
神の約束の確かさを味わい、神をあがめ、賛美した。

★賛美は、喜びは、どこから湧いてくるか？

- ①まず、主に従い、遣わされること。
- ②そして、主が言われた通りだと身をもって確認すること

聖書の通りだと、確認するところに喜びが生まれる!!



【イエスの命名】 ルカ2:21

「八日が満ちて幼子に割礼*を施す日となり、幼子はイエス*という名で呼ばれることになった。胎内に宿る前に御使いがつけた名である。」

* 割礼 ...イスラエルの男子に義務づけられた、
アブラハム契約のしるし。

「地上のすべての民族は、
あなたによって祝福される。」 創12:3

* イエス ...イエシュア 「主は救い」

■ ベツレヘムで誕生したユダヤ人の幼子こそ、
アブラハムに約束された、主メシアである。



A night scene of a city with a bright light source in the sky. The sky is dark blue with many stars and a prominent bright star or planet in the upper center. The city below is illuminated with a soft blue light, and the foreground shows silhouettes of palm trees.

IV. まとめと適用
羊飼いたちのように
主の約束を身をもって味わおう

【暗闇の中の羊飼いたち】

夜番をする姿が現す、羊飼いたちの状況とは？

蔑まれ、イスラエルの周辺に置かれていた彼ら。

そこに、500年ぶりに主の栄光が輝き、
メシア誕生の喜びの知らせが告げられた。

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、
救い主がお生まれになりました。
この方こそ主キリストです。」



【天使の宣言に学ぶこと】

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、

①救い主がお生まれになりました。この方こそ②主・③キリストです。」

■ 私たちの主、イエス・キリストは、どういう方か？

①救い主 ... 罪人であるわたしを神の怒りから救ってくださる方。

②主(ヤハウエ) ... 私たちの神である方。

③キリスト ... メシア。(油注がれた者)という意味。

油注がれた、永遠に世界を治める**王**であり、

私たちの祈りを神にとりなしてくださる**祭司**である方。

王の王 主イエス・キリストは、再び地上に来られ、世界を回復される

【羊飼いたちが体験し、行ったこと】

- ①暗闇の中の羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされた。
- ②羊飼いたちは、神の言葉を信頼した。
- ③即、遣わされ、メシアを捜し当て、神の言葉を確認した。
- ④メシアの誕生を、人々に言い広めた。

【羊飼いたちに学ぼう！ 主に信頼し、行い、追体験しよう！】

- ①主イエス・キリストの十字架と復活の福音を受け取ろう！
- ②イエス・キリストこそ、私の救い主だと信頼しよう！
- ③福音を信じたならば、主に遣わされていていこう！
一歩踏み出す時、主が約束の確かさを味わわせてくださる。
喜びは、そこから沸いてくる。救われた喜びが、私を変えていく！
- ④人々に福音をただそのままに伝えよう。結果は主に委ねよう。

【今の教会時代への適用】

①主は、キリストの弟子である信者を派遣される。

今の教会時代は、福音を宣べ伝え、信じる人が起こされる時。

②主に派遣されていく先に、飢え乾く魂との出会いがある。

③派遣されたその場で、福音を伝える。救われる魂が起こされる。

弟子の使命は、遣わされ、福音を伝えること。

結果は、主ご自身が負われる。実りはすべて神のもの。

※必要なものは、主が満たしてくださる。

伝道に必要なものも。個人的生活の必要も。試練の逃れの道も。

【主の使命を受け取るために!!】

①主の前に静まる時を持つ!!

* 一日の始まる前、朝一番のデボーションは最適♪

②御言葉に聴こう

* 聖書から、変わらない救いと成長の原則を、繰り返し確認しよう。

* 神のご計画を知り、今の時代の教会の使命を理解しよう。

③状況から聴き取ろう

* 聞かれない祈りも大切。なぜ聞かれないのか？

* 別な道がある?! 一歩下がって自分の状況を俯瞰する時も大切。

■ 閉ざされる道があり、開かれる道がある。

困難に見えるその道こそ、歩みだすべき道かもしれない。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

羊飼(ひつじか)いたちのように、真実(しんじつ)に
主(しゅ)イエスと 出会(であ)わせてください。

福音(ふくいん)を伝(つた)える者(もの)として、わたしを
遣(つか)わしてください。よろこびを味(あじ)わわせてください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの
御名(みな)によって 祈(いの)ります。アーメン」

②
ポイント

メシアの聖誕②

「地上に輝く
神の栄光」

～羊飼いの天使の知らせ～



【今日のアウトライン】

0. 神の栄光と 救いの計画

I. イエスの誕生

II. 羊飼いへの告知

III. 幼子メシアの礼拝

IV. まとめと適用

羊飼いたちのように
身をもって
主の約束を味わおう





0. 神の栄光と救いの計画
～すべては十字架に向かって～

創世記1:3

「神は仰せられた。『光があれ』すると光があった。

この光は、

神の栄光の光

“シャカイナ・グローリー”

世界は、神の栄光に満ち、

人は、神の栄光と共に住んでいた。

しかし、人が、神の約束を破り、罪を犯した時、神の栄光は、人から去ってしまった。



聖書の最大のテーマは、

「神の栄光」

(「シャカイナグロリー」)

その地上での喪失と回復

天地創造

創世記1章1節

地の再創造(エデン)

創世記1章3〜2章3節

天使の墮落→

キリストの十字架

最初のアダムの墮落→

最後のアダムの再臨←

キリストによる最後の裁き←

千年王国(エデンの回復)

現在(教会時代)

新天新地

黙示録21〜22章



神は、人間を見捨てず、メシアを送ると約束された。

【原福音】 創3:15

「お前と女、お前の子孫と
女の子孫の間に
わたしは敵意を置く。
彼は お前の頭を砕き
お前は 彼のかかとを砕く。」



メシアは、神の栄光そのものとして来られ、
信じる者に、神の栄光を回復してくださる。

人間は、罪を重ね、
自ら神になろうとし、
神に背き続けた。

人間の良心も、人間の
国家も、地上に平和
をつくりだすことはでき
なかった。



神は、アブラハムという無名の人物を選び、約束された。

「地上の氏族はすべて
あなたによって祝福に入る。創12:3」

一人の人から、一つの民族を生み、
その子孫から、メシアを誕生させ、
人類を救いに導く。それが神の計画。

アブラハム、二代目イサク、三代目ヤコブ。
ヤコブから12人の息子が生まれ、
イスラエル12部族の先祖となった。



イスラエル民族は、エジプトに逃れ住み、奴隷として
過ごした400年で、一大民族に成長した。

イスラエルは、神に導かれてエジプトから脱出し、
約束の地へ向かった。

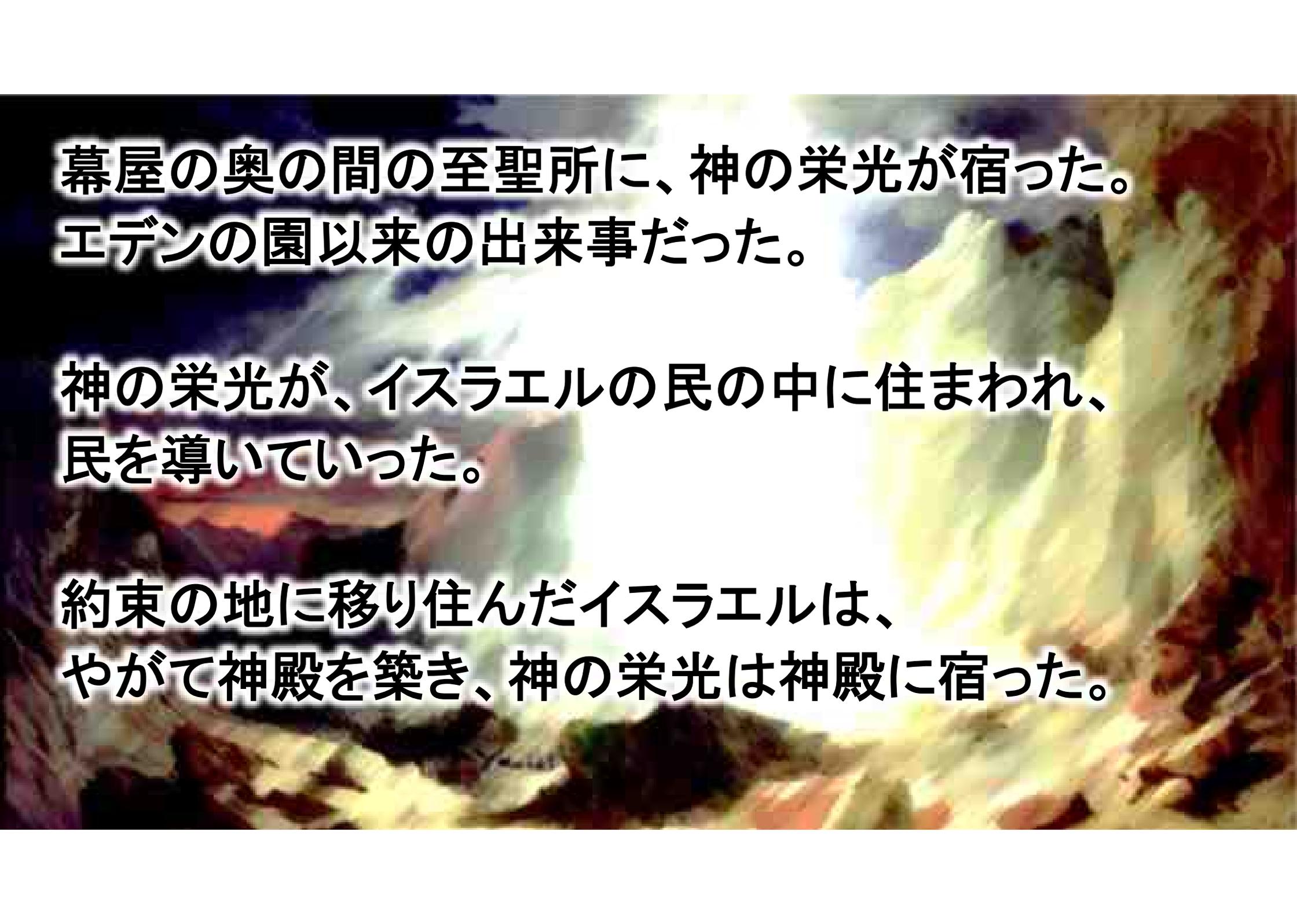


神は、シナイ山で、ご自身の栄光を表され、
イスラエルに律法を与えた。

民は、神の命令に従い、
主に言われたままに、
テントの神殿である
幕屋を建てた。

幕屋が完成したその時...





幕屋の奥の間の至聖所に、神の栄光が宿った。
エデンの園以来の出来事だった。

神の栄光が、イスラエルの民の中に住まわれ、
民を導いていった。

約束の地に移り住んだイスラエルは、
やがて神殿を築き、神の栄光は神殿に宿った。

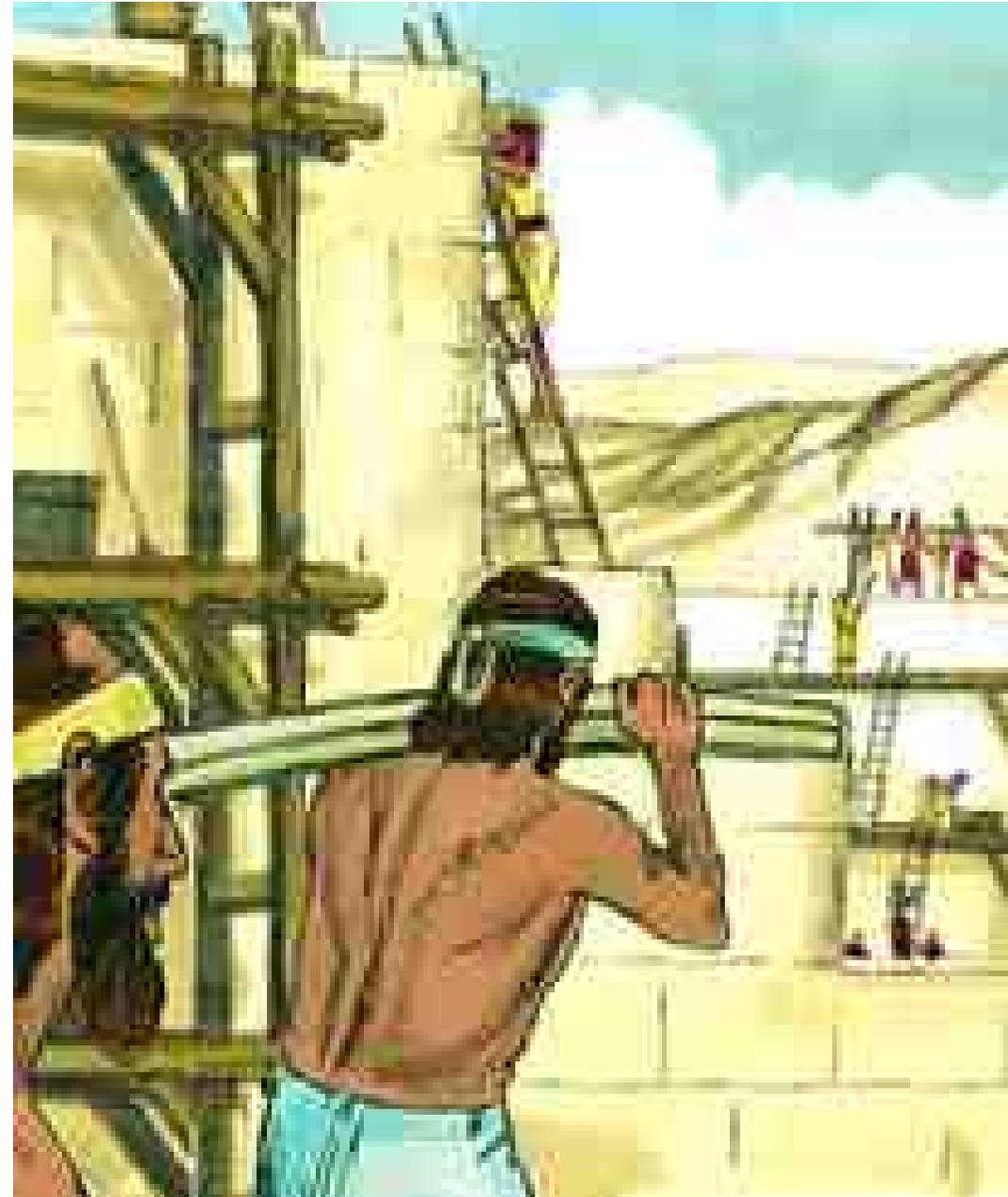
しかし、イスラエルは、神に背き、偶像礼拝に陥った。
民の罪の末に、神の栄光は、神殿を去ってしまう。
ついに、エルサレムは、神殿もろともバビロニアに
滅ぼされた。人々は捕囚として連れて行かれた。



70年後、イスラエルは捕囚から解放された。

人々は少しずつエルサレムに帰還し、神殿を再建した。

しかし、再建した神殿に、神の栄光はなかった。



苦しみの中でも、イスラエルに残っていた信仰者を通し、メシアのことが、少しずつ明らかにされていった。

メシアは、

...イスラエルのユダ族から生まれる。創40:10

...ダビデ王の子孫から生まれる。サム下7:12

...ベツレヘムで生まれる。ミカ5:1

...処女(しよじよ)から生まれる。イザヤ7:14

メシアが、神の栄光を地上に回復される。

I. イエスの誕生

ルカ2:1~7



【住民登録】 ルカ1:1~2

2:1 そのころ、全世界の住民登録をせよ*という勅令が、皇帝アウグスト*から出た。

2:2 これは、クレニオがシリアの総督であったときの最初の住民登録であった。

* 徴税のためにローマ全土で人口調査を実施。

* **アウグスト** ...「大いなる者」(称号)

・カエサルの死後、ローマ帝国初代皇帝に。

・名は、オクタヴィアヌス

⇒彼の名から、8月がAugustと変更された。

* **クレニオ**総督の二期目の時。



【ベツレヘムへの帰郷】 ルカ1:3～5

2:3 それで、人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に向かって行った。

2:4 ヨセフ*もガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘム*というダビデの町へ上って行った。彼は、ダビデ*の家系であり血筋でもあったので、

2:5 身重になっているいなずけの妻マリヤもいっしょに登録するためであった。

* **ヨセフ**は、人口登録のため、マリアを連れて先祖ダビデの町ベツレヘムへ帰郷した。

* **ベツレヘム**⇒エルサレムの南8kmにある小さな町。

* **ダビデ**は、イスラエルの偉大な王。

その子孫からメシアが誕生すると預言されていた。



【成就したミカ書*5章2節の預言】

ベツレヘム・エフラテよ。
あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、
あなたのうちから、わたしのために、
イスラエルの支配者になる者が出る。
その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。

*ミカは、イザヤと同時代の北王国の預言者

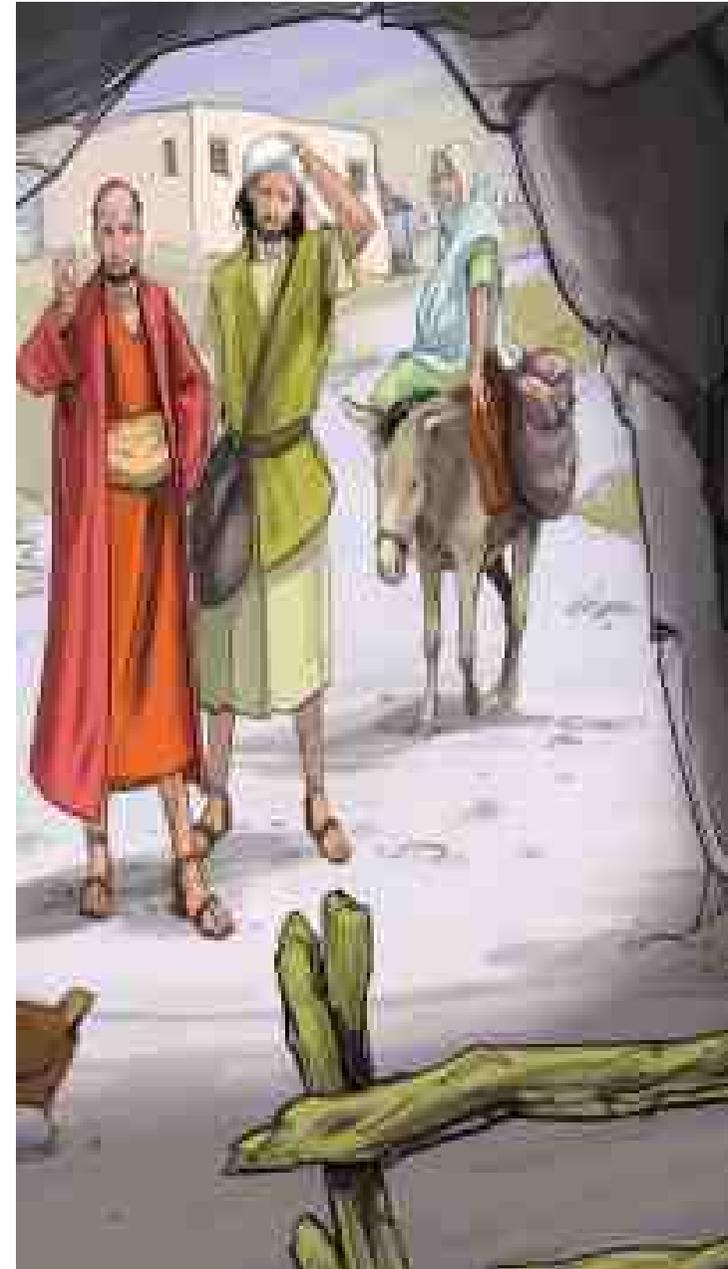
【イエスの誕生】 ルカ1:6~7

2:6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリヤは月が満ちて、男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋*には彼らのいる場所がなかったからである。

* **宿屋** ⇒カタリュマ。客間(口語訳)。

最後の晩餐の部屋も、カタリュマ。

- この時代、宿屋は都市にしかなかった。
誰かの家に泊めてもらうのが、一般的!!
- この地方には石灰岩の天然の洞窟が多く、
家畜小屋や墓地として使用されていた。



Ⅱ. 羊飼いの告知 ルカ2:8~14

エルサレムから見たベツレヘム
羊飼いの野

【ベツレヘムの羊飼いたち】 ルカ2:8～

さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿*で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。

* **野宿** ⇒ 温暖なイスラエルでは、
一年中、羊を追う羊飼いの姿が!!
雨期の12月は、むしろ放牧の季節。

■ ベツレヘム近郊では、神殿で献げるための子羊を飼っていたらしい?!

■ 過越祭で献げる子羊も飼っていた?

■ 洞窟の家畜小屋は、彼らの所有?



【羊飼いを職業にしていた聖徒たち】

■ アダムの息子アベル

■ イスラエルの祖先アブラハム⇒イサク⇒ヤコブ
⇒ヤコブの12人の息子たち

■ 偉大な王ダビデは、ベツレヘムに住む
羊飼いや一家の末っ子だった。

■ しかし、2千年前のイスラエルでは、
羊飼いは、蔑まれる存在になっていた。

■ 律法を学ばず?!、口伝律法に従わず、
無知で、貧しく、嘘つきと呼ばれ....。

その羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされる



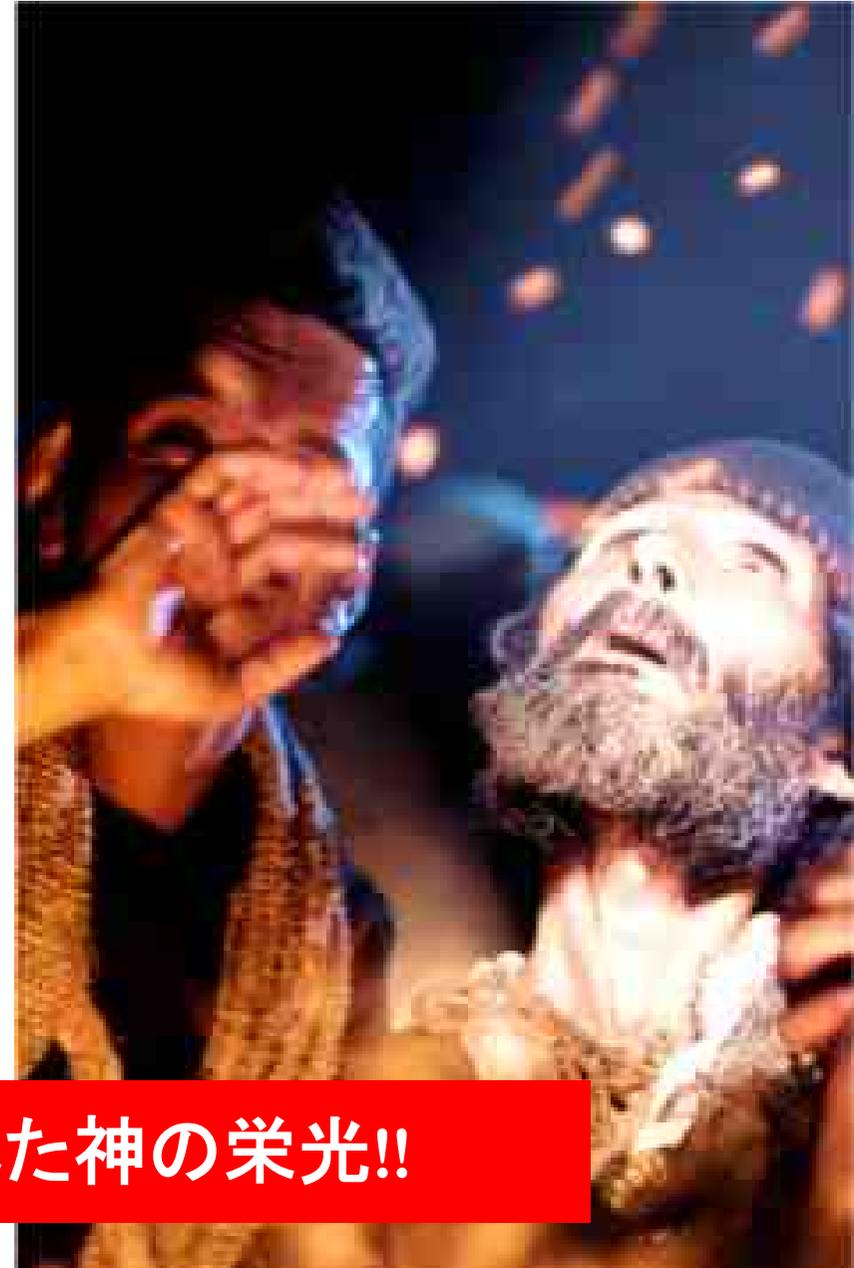
【天使の出現】 ルカ2:9～

すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光*が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。

* 主の栄光 ...シャカイナグローリー

- イスラエルが偶像礼拝に陥った
預言者エゼキエルの時代に、
神殿を去った主の栄光。

実際に、500年ぶりに地上に現れた神の栄光!!



【天使の出現】 ルカ2:10～11

「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょう*ダビデの町で、あなたがたのために、救い主*がお生まれになりました。この方こそ主キリスト*です。」

* きょう ⇒ いにしえからの神の預言が成就した!!
歴史的瞬間を告げる言葉!!

* 救い主 = メシア = キリスト

* 主キリスト ⇒ ヤハウエ(神)なるキリスト!!
キリストは、人となられた神であるということ!!



【告げられたしるし】 ルカ2:12

「あなたがたは、布にくるまって*
飼葉おけに寝ておられるみどりごを
見つけます。これが、あなたがたの
ためのしるしです。」



* 布にくるんで ⇒ 当時の習慣。

死者の埋葬時も布で包んだ。

* 飼い葉桶 ⇒ この地方では、石製が一般的。木は貴重。

* しるし ⇒ 特異な姿だから、しるしとなる。

■ 天然の洞窟が多く、家畜小屋や墓地として使用されていた。

⇒ 家畜小屋も、羊飼いたちの所有？

A photograph of an ancient burial site. The scene is dimly lit, showing a stone platform and a stone coffin. The platform is a large, flat, rectangular stone slab. The coffin is a tall, narrow, rectangular stone structure with a pointed top. The background is a rough, textured wall of earth or stone.

遺体の安置台

石棺

【当時の埋葬】

- ・墓地には、埋葬のための亜麻布があった。
- ・遺体は、布で巻かれ、1年安置された後、残った骨を石棺(骨壺)に移した。

【しるしに現れたメシアの使命】

布で巻かれ、
石の飼い葉桶に寝かされたメシア

その姿は、葬られる死者のよう!!

“イエス・キリストは、
私たちの罪を贖う犠牲の小羊として
十字架で死なれるために誕生された”



【人となられた神】 ピリピ2:6~8

「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。

人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、
実に十字架の死にまでも従われました。」



【天使たちの賛美】 ルカ2:13～14

すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢*が現れて、神を賛美して言った「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように」

* 天使たちの大軍勢が出現し、神の平和が宣言され、賛美が献げられた。

★神の栄光が、メシアとして地上に現れた。
信じる人々に、神との平和がもたらされる。





【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:15～16

御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。

「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」

そして急いで行って*、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごとを捜し当てた。

* **急いで** ⇒ただちに行動に移した羊飼いたち
場所の目星もついていた?!

■ 告知通りの幼子を見つけた羊飼いたち。

■ 主に従い、遣わされたからこそ、
メシアを見つけ出し、出会うことができた!!



【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:17～19

それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について告げられたことを知らせた*。それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに驚いた*。しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。

- * **知らせた** ...メシアについて主が告げた通り
⇒私たちの伝道の原則も同じ!!
- * **驚いた** ...人々が信じた、とはない。
⇒メシア誕生の知らせは広がらなかった。
- * **思い巡らす** ...人々よりは、ずっとましたが、メシアの使命をまだ理解できないマリヤ。



【羊飼いたちの帰還】 ルカ2:20

「羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので*、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。」

* 御使いの話どおり ⇒それが神の約束だと確認した。
羊飼いたちは、預言の成就を目の当たりにし、
神の約束の確かさを味わい、神をあがめ、賛美した。

★賛美は、喜びは、どこから湧いてくるか？

- ①まず、主に従い、遣わされること。
- ②そして、主が言われた通りだと身をもって確認すること

聖書の通りだと、確認するところに喜びが生まれる!!



【イエスの命名】 ルカ2:21

「八日が満ちて幼子に割礼*を施す日となり、幼子はイエス*という名で呼ばれることになった。胎内に宿る前に御使いがつけた名である。」

* 割礼 ...イスラエルの男子に義務づけられた、
アブラハム契約のしるし。

「地上のすべての民族は、
あなたによって祝福される。」 創12:3

* イエス ...イエシュア 「主は救い」

■ ベツレヘムで誕生したユダヤ人の幼子こそ、
アブラハムに約束された、主メシアである。



A night scene of a city with a bright light source in the sky. The sky is dark blue with many stars. A bright, glowing light source is visible in the upper center, casting a soft glow over the city below. The city is illuminated with a blueish light, and the buildings are visible in the foreground. The overall atmosphere is serene and contemplative.

IV. まとめと適用
羊飼いたちのように
主の約束を身をもって味わおう

【暗闇の中の羊飼いたち】

夜番をする姿が現す、羊飼いたちの状況とは？

蔑まれ、イスラエルの周辺に置かれていた彼ら。

そこに、500年ぶりに主の栄光が輝き、
メシア誕生の喜びの知らせが告げられた。

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、
救い主がお生まれになりました。
この方こそ主キリストです。」



【天使の宣言に学ぶこと】

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、

①救い主がお生まれになりました。この方こそ②主・③キリストです。」

■ 私たちの主、イエス・キリストは、どういう方か？

①救い主 ... 罪人であるわたしを神の怒りから救ってくださる方。

②主(ヤハウエ) ... 私たちの神である方。

③キリスト ... メシア。(油注がれた者)という意味。

油注がれた、永遠に世界を治める**王**であり、

私たちの祈りを神にとりなしてくださる**祭司**である方。

王の王 主イエス・キリストは、再び地上に来られ、世界を回復される

【羊飼いたちが体験し、行ったこと】

- ①暗闇の中の羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされた。
- ②羊飼いたちは、神の言葉を信頼した。
- ③即、遣わされ、メシアを捜し当て、神の言葉を確認した。
- ④メシアの誕生を、人々に言い広めた。

【羊飼いたちに学ぼう！ 主に信頼し、行い、追体験しよう！】

- ①主イエス・キリストの十字架と復活の福音を受け取ろう！
- ②イエス・キリストこそ、私の救い主だと信頼しよう！
- ③福音を信じたならば、主に遣わされていていこう！
一歩踏み出す時、主が約束の確かさを味わわせてくださる。
喜びは、そこから沸いてくる。救われた喜びが、私を変えていく！
- ④人々に福音をただそのままに伝えよう。結果は主に委ねよう。

【今の教会時代への適用】

①主は、キリストの弟子である信者を派遣される。

今の教会時代は、福音を宣べ伝え、信じる人が起こされる時。

②主に派遣されていく先に、飢え乾く魂との出会いがある。

③派遣されたその場で、福音を伝える。救われる魂が起こされる。

弟子の使命は、遣わされ、福音を伝えること。

結果は、主ご自身が負われる。実りはすべて神のもの。

※必要なものは、主が満たしてくださる。

伝道に必要なものも。個人的生活の必要も。試練の逃れの道も。

【主の使命を受け取るために!!】

①主の前に静まる時を持つ!!

* 一日の始まる前、朝一番のデボーションは最適♪

②御言葉に聴こう

* 聖書から、変わらない救いと成長の原則を、繰り返し確認しよう。

* 神のご計画を知り、今の時代の教会の使命を理解しよう。

③状況から聴き取ろう

* 聞かれない祈りも大切。なぜ聞かれないのか？

* 別な道がある?! 一歩下がって自分の状況を俯瞰する時も大切。

■ 閉ざされる道があり、開かれる道がある。

困難に見えるその道こそ、歩みだすべき道かもしれない。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

羊飼(ひつじか)いたちのように、真実(しんじつ)に
主(しゅ)イエスと 出会(であ)わせてください。

福音(ふくいん)を伝(つた)える者(もの)として、わたしを
遣(つか)わしてください。よろこびを味(あじ)わわせてください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの
御名(みな)によって 祈(いの)ります。アーメン」

②
ポイント

メシアの聖誕②

「地上に輝く
神の栄光」

～羊飼いの天使の知らせ～



【今日のアウトライン】

0. 神の栄光と 救いの計画

I. イエスの誕生

II. 羊飼いへの告知

III. 幼子メシアの礼拝

IV. まとめと適用

羊飼いたちのように
身をもって
主の約束を味わおう



An open book with dense handwritten text in two columns per page. The paper is aged and yellowed. The text is written in a cursive script, likely Latin or a similar European language. The book is laid flat, showing the gutter in the center.

0. 神の栄光と救いの計画
~すべては十字架に向かって~

創世記1:3

「神は仰せられた。『光があれ』すると光があった。

この光は、

神の栄光の光

“シャカイナ・グローリー”

世界は、神の栄光に満ち、

人は、神の栄光と共に住んでいた。

しかし、人が、神の約束を破り、罪を犯した時、
神の栄光は、人から去ってしまった。



聖書の最大のテーマは、

「神の栄光」

(「シャカイナグロリー」)

その地上での喪失と回復

天地創造

創世記1章1節

地の再創造(エデン)

創世記1章3〜2章3節

天使の墮落→

キリストの十字架

最初のアダム
人の墮落→

最後のアダム
キリストの
← 再臨

キリストによる
← 最後の裁き

千年王国(エデンの回復)

現在(教会時代)

新天新地

黙示録21〜22章



神は、人間を見捨てず、メシアを送ると約束された。

【原福音】 創3:15

「お前と女、お前の子孫と
女の子孫の間に
わたしは敵意を置く。
彼は お前の頭を砕き
お前は 彼のかかとを砕く。」



メシアは、神の栄光そのものとして来られ、
信じる者に、神の栄光を回復してくださる。

人間は、罪を重ね、
自ら神になろうとし、
神に背き続けた。

人間の良心も、人間の
国家も、地上に平和
をつくりだすことはでき
なかった。



神は、アブラハムという無名の人物を選び、約束された。

「地上の氏族はすべて
あなたによって祝福に入る。創12:3」

一人の人から、一つの民族を生み、
その子孫から、メシアを誕生させ、
人類を救いに導く。それが神の計画。

アブラハム、二代目イサク、三代目ヤコブ。
ヤコブから12人の息子が生まれ、
イスラエル12部族の先祖となった。



イスラエル民族は、エジプトに逃れ住み、奴隷として
過ごした400年で、一大民族に成長した。

イスラエルは、神に導かれてエジプトから脱出し、
約束の地へ向かった。

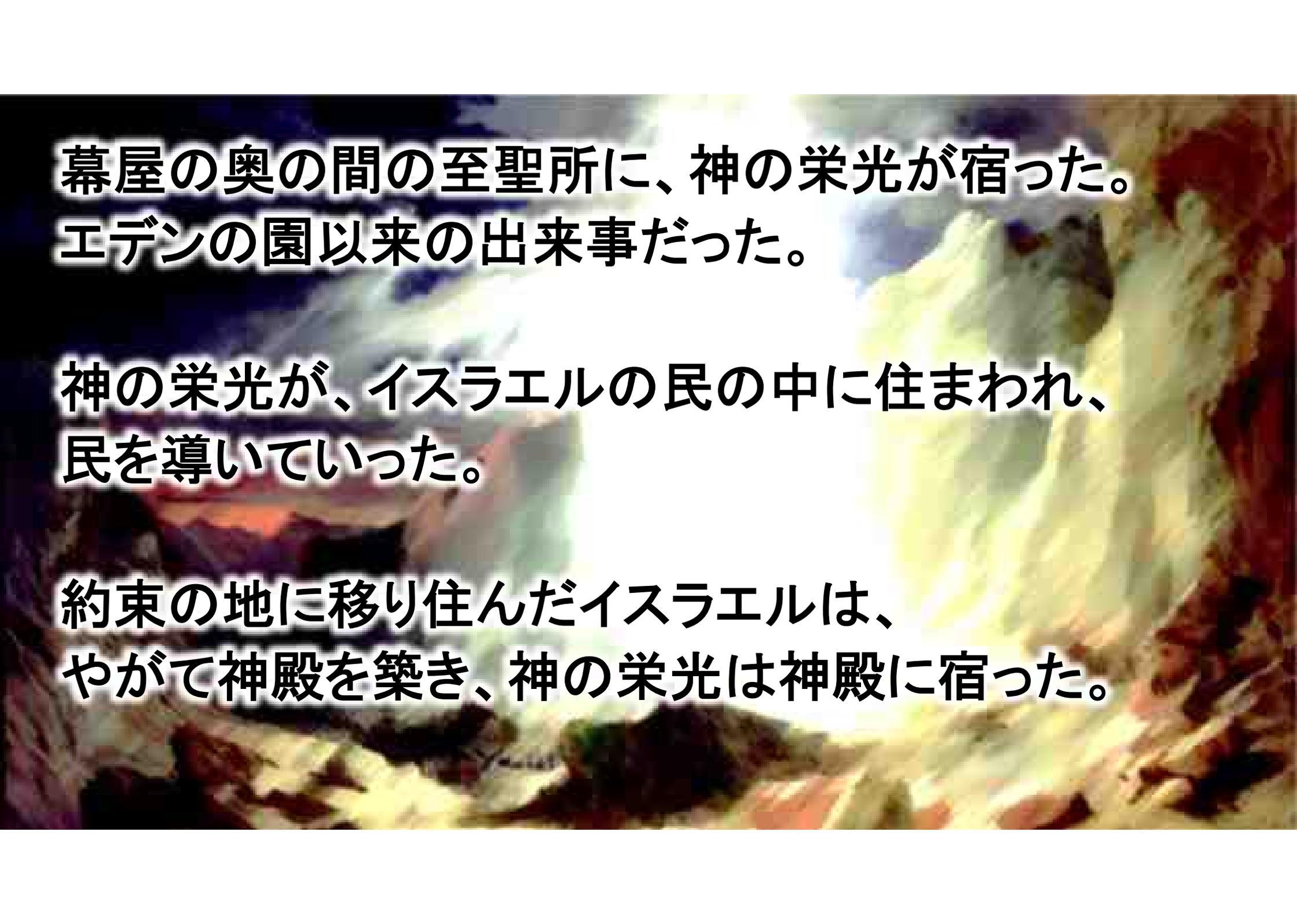


神は、シナイ山で、ご自身の栄光を表され、
イスラエルに律法を与えた。

民は、神の命令に従い、
主に言われたままに、
テントの神殿である
幕屋を建てた。

幕屋が完成したその時...





幕屋の奥の間の至聖所に、神の栄光が宿った。
エデンの園以来の出来事だった。

神の栄光が、イスラエルの民の中に住まわれ、
民を導いていった。

約束の地に移り住んだイスラエルは、
やがて神殿を築き、神の栄光は神殿に宿った。

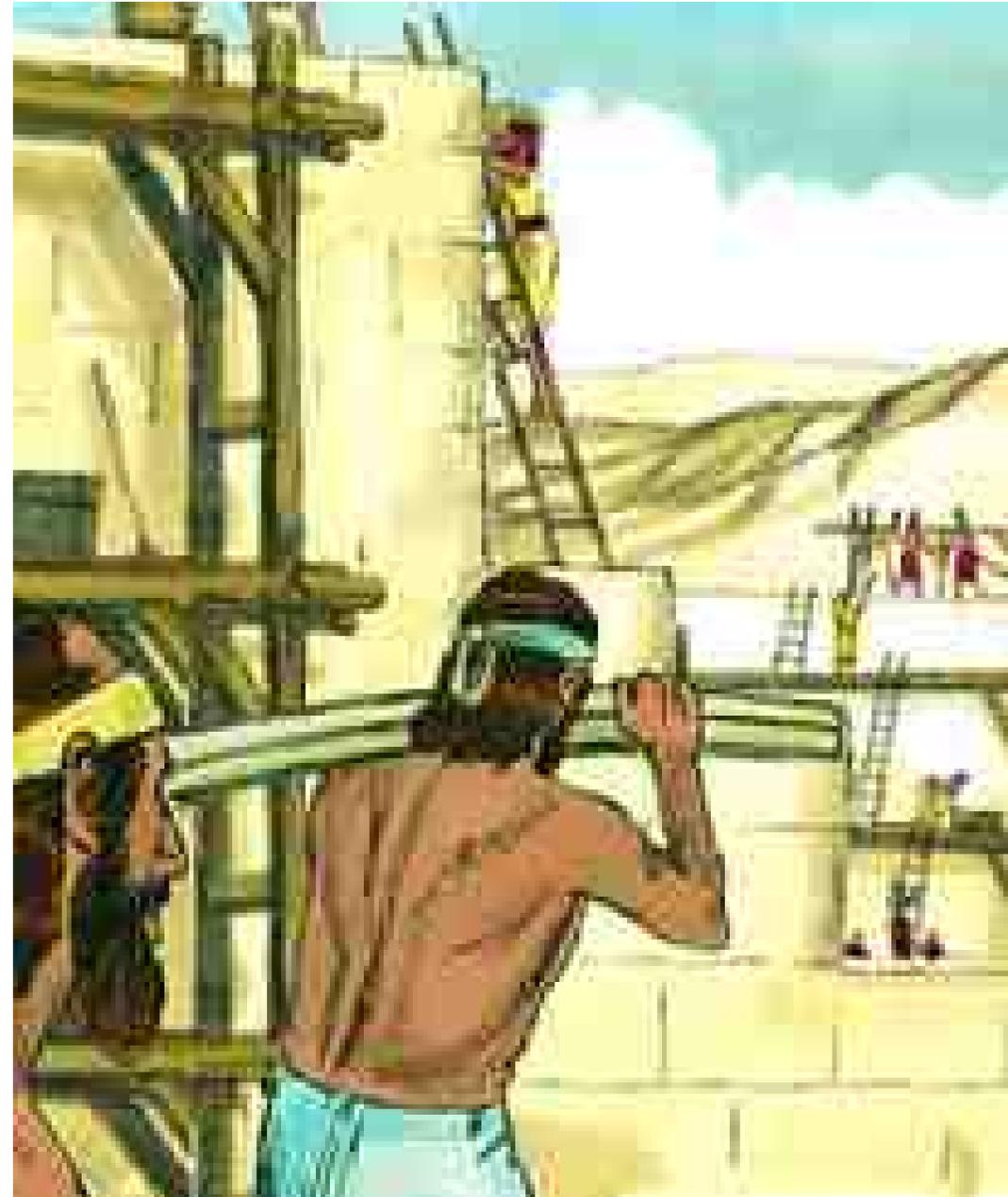
しかし、イスラエルは、神に背き、偶像礼拝に陥った。
民の罪の末に、神の栄光は、神殿を去ってしまう。
ついに、エルサレムは、神殿もろともバビロニアに
滅ぼされた。人々は捕囚として連れて行かれた。



70年後、イスラエルは捕囚から解放された。

人々は少しずつエルサレムに帰還し、神殿を再建した。

しかし、再建した神殿に、神の栄光はなかった。



苦しみの中でも、イスラエルに残っていた信仰者を通し、メシアのことが、少しずつ明らかにされていった。

メシアは、

...イスラエルのユダ族から生まれる。創40:10

...ダビデ王の子孫から生まれる。サム下7:12

...ベツレヘムで生まれる。ミカ5:1

...処女(しよじよ)から生まれる。イザヤ7:14

メシアが、神の栄光を地上に回復される。

I. イエスの誕生

ルカ2:1~7



【住民登録】 ルカ1:1~2

2:1 そのころ、全世界の住民登録をせよ*という勅令が、皇帝アウグスト*から出た。

2:2 これは、クレニオがシリアの総督であったときの最初の住民登録であった。

* 徴税のためにローマ全土で人口調査を実施。

* **アウグスト** ...「大いなる者」(称号)

・カエサルの子、ローマ帝国初代皇帝に。

・名は、オクタヴィアヌス

⇒彼の名から、8月がAugustと変更された。

* **クレニオ**総督の二期目の時。



【ベツレヘムへの帰郷】 ルカ1:3～5

2:3 それで、人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に向かって行った。

2:4 ヨセフ*もガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘム*というダビデの町へ上って行った。彼は、ダビデ*の家系であり血筋でもあったので、

2:5 身重になっているいいなずけの妻マリヤもいっしょに登録するためであった。

* **ヨセフ**は、人口登録のため、マリアを連れて先祖ダビデの町ベツレヘムへ帰郷した。

* **ベツレヘム**⇒エルサレムの南8kmにある小さな町。

* **ダビデ**は、イスラエルの偉大な王。

その子孫からメシアが誕生すると預言されていた。



【成就したミカ書*5章2節の預言】

ベツレヘム・エフラテよ。
あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、
あなたのうちから、わたしのために、
イスラエルの支配者になる者が出る。
その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。

*ミカは、イザヤと同時代の北王国の預言者

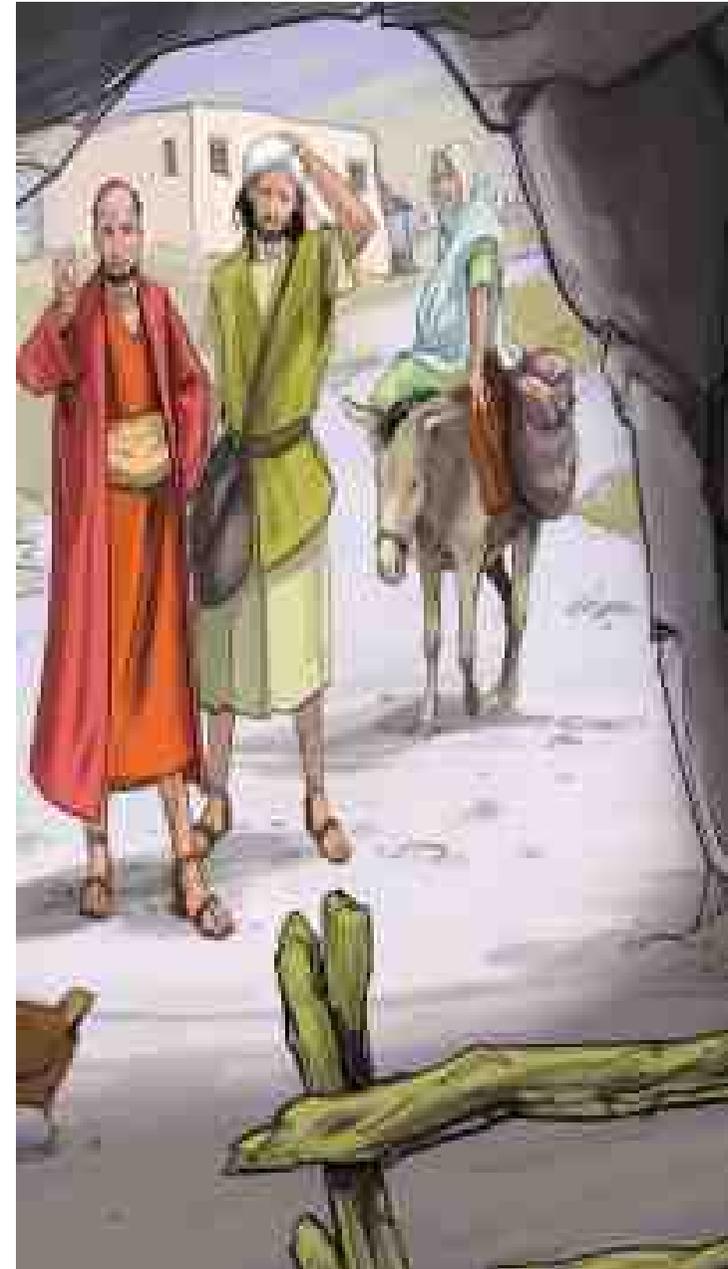
【イエスの誕生】 ルカ1:6~7

2:6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリヤは月が満ちて、男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋*には彼らのいる場所がなかったからである。

* **宿屋** ⇒カタリュマ。客間(口語訳)。

最後の晩餐の部屋も、カタリュマ。

- この時代、宿屋は都市にしかなかった。
誰かの家に泊めてもらうのが、一般的!!
- この地方には石灰岩の天然の洞窟が多く、
家畜小屋や墓地として使用されていた。



Ⅱ. 羊飼いへの告知 ルカ2:8~14

エルサレムから見たベツレヘム
羊飼いの野

【ベツレヘムの羊飼いたち】 ルカ2:8～

さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿*で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。

* **野宿** ⇒ 温暖なイスラエルでは、
一年中、羊を追う羊飼いの姿が!!
雨期の12月は、むしろ放牧の季節。

■ ベツレヘム近郊では、神殿で献げるための子羊を飼っていたらしい?!

■ 過越祭で献げる子羊も飼っていた?

■ 洞窟の家畜小屋は、彼らの所有?



【羊飼いを職業にしていた聖徒たち】

■ アダムの息子アベル

■ イスラエルの祖先アブラハム⇒イサク⇒ヤコブ
⇒ヤコブの12人の息子たち

■ 偉大な王ダビデは、ベツレヘムに住む
羊飼いや一家の末っ子だった。

■ しかし、2千年前のイスラエルでは、
羊飼いは、蔑まれる存在になっていた。

■ 律法を学ばず?!、口伝律法に従わず、
無知で、貧しく、嘘つきと呼ばれ....。

その羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされる



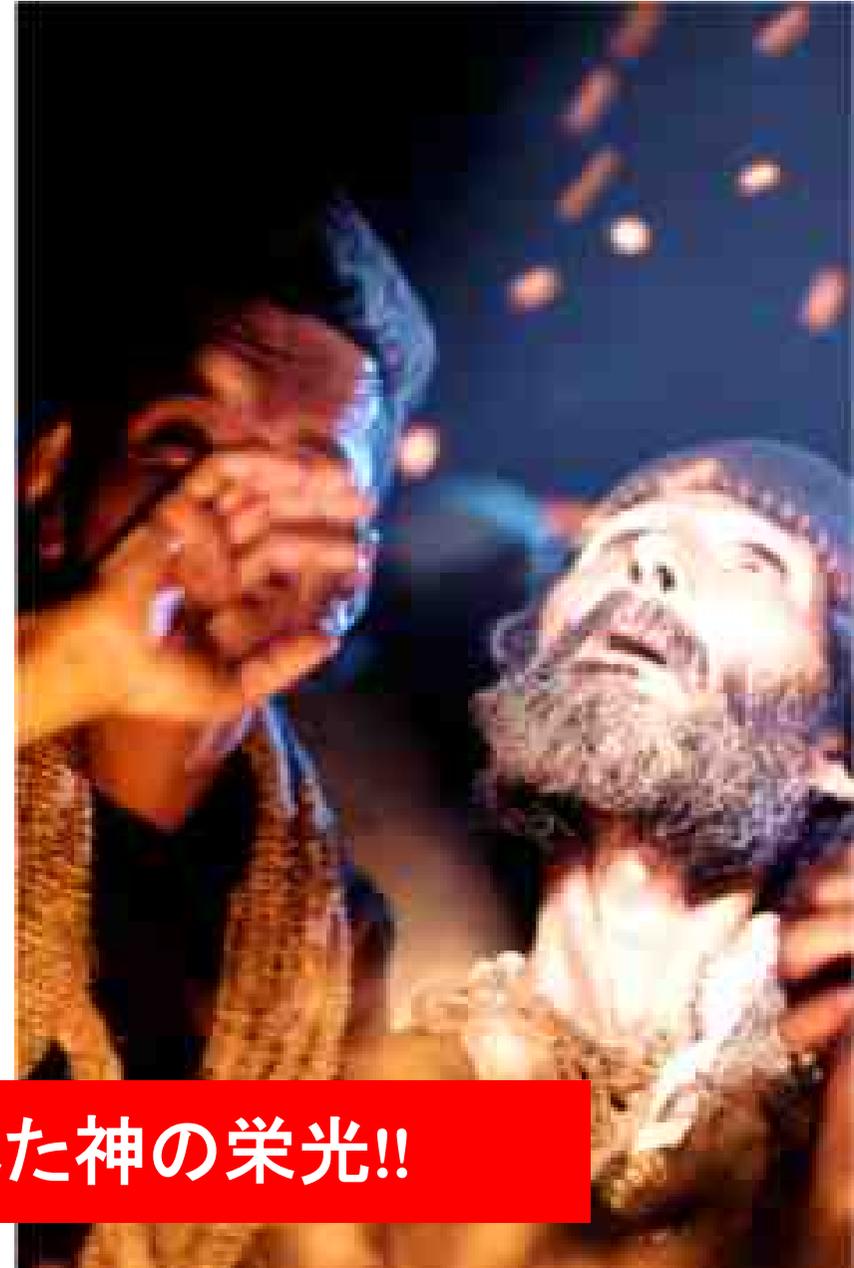
【天使の出現】 ルカ2:9～

すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光*が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。

* 主の栄光 ...シャカイナグローリー

■ イスラエルが偶像礼拝に陥った
預言者エゼキエルの時代に、
神殿を去った主の栄光。

実際に、500年ぶりに地上に現れた神の栄光!!



【天使の出現】 ルカ2:10~11

「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょう*ダビデの町で、あなたがたのために、救い主*がお生まれになりました。この方こそ主キリスト*です。」

* きょう ⇒ いにしえからの神の預言が成就した!!
歴史的瞬間を告げる言葉!!

* 救い主 = メシア = キリスト

* 主キリスト ⇒ ヤハウエ(神)なるキリスト!!
キリストは、人となられた神であるということ!!



【告げられたしるし】 ルカ2:12

「あなたがたは、布にくるまって*
飼葉おけに寝ておられるみどりごを
見つけます。これが、あなたがたの
ためのしるしです。」



* 布にくるんで ⇒ 当時の習慣。

死者の埋葬時も布で包んだ。

* 飼い葉桶 ⇒ この地方では、石製が一般的。木は貴重。

* しるし ⇒ 特異な姿だから、しるしとなる。

■ 天然の洞窟が多く、家畜小屋や墓地として使用されていた。

⇒ 家畜小屋も、羊飼いたちの所有？

A photograph of an ancient burial site. The scene is dimly lit, showing a stone platform and a stone coffin. The platform is a large, flat, rectangular stone slab. The coffin is a tall, narrow, rectangular stone structure with a pointed top. The background is a rough, textured wall of earth or stone.

遺体の安置台

石棺

【当時の埋葬】

- ・墓地には、埋葬のための亜麻布があった。
- ・遺体は、布で巻かれ、1年安置された後、残った骨を石棺(骨壺)に移した。

【しるしに現れたメシアの使命】

布で巻かれ、
石の飼い葉桶に寝かされたメシア

その姿は、葬られる死者のよう!!

“イエス・キリストは、
私たちの罪を贖う犠牲の小羊として
十字架で死なれるために誕生された”



【人となられた神】 ピリピ2:6~8

「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。

人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、
実に十字架の死にまでも従われました。」



【天使たちの賛美】 ルカ2:13～14

すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢*が現れて、神を賛美して言った「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように」

* 天使たちの大軍勢が出現し、神の平和が宣言され、賛美が献げられた。

★神の栄光が、メシアとして地上に現れた。
信じる人々に、神との平和がもたらされる。





【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:15～16

御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。

「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」

そして急いで行って*、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごとを捜し当てた。

* **急いで** ⇒ただちに行動に移した羊飼いたち
場所の目星もついていた?!

■ 告知通りの幼子を見つけた羊飼いたち。

■ 主に従い、遣わされたからこそ、

メシアを見つけ出し、出会うことができた!!



【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:17～19

それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について告げられたことを知らせた*。それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに驚いた*。しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。

- * 知らせた ...メシアについて主が告げた通り
⇒私たちの伝道の原則も同じ!!
- * 驚いた ...人々が信じた、とはない。
⇒メシア誕生の知らせは広がらなかった。
- * 思い巡らす ...人々よりは、ずっとましたが、メシアの使命をまだ理解できないマリヤ。



【羊飼いたちの帰還】 ルカ2:20

「羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので*、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。」

* 御使いの話どおり ⇒それが神の約束だと確認した。
羊飼いたちは、預言の成就を目の当たりにし、
神の約束の確かさを味わい、神をあがめ、賛美した。

★賛美は、喜びは、どこから湧いてくるか？

- ①まず、主に従い、遣わされること。
- ②そして、主が言われた通りだと身をもって確認すること

聖書の通りだと、確認するところに喜びが生まれる!!



【イエスの命名】 ルカ2:21

「八日が満ちて幼子に割礼*を施す日となり、幼子はイエス*という名で呼ばれることになった。胎内に宿る前に御使いがつけた名である。」

* 割礼 ...イスラエルの男子に義務づけられた、
アブラハム契約のしるし。

「地上のすべての民族は、
あなたによって祝福される。」 創12:3

* イエス ...イエシュア 「主は救い」

■ ベツレヘムで誕生したユダヤ人の幼子こそ、
アブラハムに約束された、主メシアである。



A night scene of a city with a bright light source in the sky. The sky is dark blue with many stars and a prominent bright star or planet in the upper center. The city below is illuminated with a soft blue light, and the foreground shows some foliage.

IV. まとめと適用
羊飼いたちのように
主の約束を身をもって味わおう

【暗闇の中の羊飼いたち】

夜番をする姿が現す、羊飼いたちの状況とは？

蔑まれ、イスラエルの周辺に置かれていた彼ら。

そこに、500年ぶりに主の栄光が輝き、
メシア誕生の喜びの知らせが告げられた。

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、
救い主がお生まれになりました。
この方こそ主キリストです。」



【天使の宣言に学ぶこと】

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、

①救い主がお生まれになりました。この方こそ②主・③キリストです。」

■ 私たちの主、イエス・キリストは、どういう方か？

①救い主 ... 罪人であるわたしを神の怒りから救ってくださる方。

②主(ヤハウエ) ... 私たちの神である方。

③キリスト ... メシア。(油注がれた者)という意味。

油注がれた、永遠に世界を治める**王**であり、

私たちの祈りを神にとりなしてくださる**祭司**である方。

王の王 主イエス・キリストは、再び地上に来られ、世界を回復される

【羊飼いたちが体験し、行ったこと】

- ①暗闇の中の羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされた。
- ②羊飼いたちは、神の言葉を信頼した。
- ③即、遣わされ、メシアを捜し当て、神の言葉を確認した。
- ④メシアの誕生を、人々に言い広めた。

【羊飼いたちに学ぼう！ 主に信頼し、行い、追体験しよう！】

- ①主イエス・キリストの十字架と復活の福音を受け取ろう！
- ②イエス・キリストこそ、私の救い主だと信頼しよう！
- ③福音を信じたならば、主に遣わされていていこう！
一歩踏み出す時、主が約束の確かさを味わわせてくださる。
喜びは、そこから沸いてくる。救われた喜びが、私を変えていく！
- ④人々に福音をただそのままに伝えよう。結果は主に委ねよう。

【今の教会時代への適用】

①主は、キリストの弟子である信者を派遣される。

今の教会時代は、福音を宣べ伝え、信じる人が起こされる時。

②主に派遣されていく先に、飢え乾く魂との出会いがある。

③派遣されたその場で、福音を伝える。救われる魂が起こされる。

弟子の使命は、遣わされ、福音を伝えること。

結果は、主ご自身が負われる。実りはすべて神のもの。

※必要なものは、主が満たしてくださる。

伝道に必要なものも。個人的生活の必要も。試練の逃れの道も。

【主の使命を受け取るために!!】

①主の前に静まる時を持つ!!

* 一日の始まる前、朝一番のデボーションは最適♪

②御言葉に聴こう

* 聖書から、変わらない救いと成長の原則を、繰り返し確認しよう。

* 神のご計画を知り、今の時代の教会の使命を理解しよう。

③状況から聴き取ろう

* 聞かれない祈りも大切。なぜ聞かれないのか？

* 別な道がある?! 一歩下がって自分の状況を俯瞰する時も大切。

■ 閉ざされる道があり、開かれる道がある。

困難に見えるその道こそ、歩みだすべき道かもしれない。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

羊飼(ひつじか)いたちのように、真実(しんじつ)に
主(しゅ)イエスと 出会(であ)わせてください。

福音(ふくいん)を伝(つた)える者(もの)として、わたしを
遣(つか)わしてください。よろこびを味(あじ)わわせてください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの
御名(みな)によって 祈(いの)ります。アーメン」

②
ポイント

メシアの聖誕②

「地上に輝く
神の栄光」

～羊飼いの天使の知らせ～



【今日のアウトライン】

0. 神の栄光と 救いの計画

I. イエスの誕生

II. 羊飼いへの告知

III. 幼子メシアの礼拝

IV. まとめと適用

羊飼いたちのように
身をもって
主の約束を味わおう





0. 神の栄光と救いの計画
～すべては十字架に向かって～

創世記1:3

「神は仰せられた。『光があれ』すると光があった。

この光は、

神の栄光の光

“シャカイナ・グローリー”

世界は、神の栄光に満ち、

人は、神の栄光と共に住んでいた。

しかし、人が、神の約束を破り、罪を犯した時、神の栄光は、人から去ってしまった。



聖書の最大のテーマは、

「神の栄光」

(「シャカイナグロリー」)

その地上での喪失と回復

天地創造

創世記1章1節

地の再創造(エデン)

創世記1章3〜2章3節

天使の墮落→

キリストの十字架

最初のアダムの墮落→

最後のアダムの再臨←

キリストによる最後の裁き←

千年王国(エデンの回復)

現在(教会時代)

新天新地

黙示録21〜22章



神は、人間を見捨てず、メシアを送ると約束された。

【原福音】 創3:15

「お前と女、お前の子孫と
女の子孫の間に
わたしは敵意を置く。
彼は お前の頭を砕き
お前は 彼のかかとを砕く。」



メシアは、神の栄光そのものとして来られ、
信じる者に、神の栄光を回復してくださる。

人間は、罪を重ね、
自ら神になろうとし、
神に背き続けた。

人間の良心も、人間の
国家も、地上に平和
をつくりだすことはでき
なかった。



神は、アブラハムという無名の人物を選び、約束された。

「地上の氏族はすべて
あなたによって祝福に入る。創12:3」

一人の人から、一つの民族を生み、
その子孫から、メシアを誕生させ、
人類を救いに導く。それが神の計画。

アブラハム、二代目イサク、三代目ヤコブ。
ヤコブから12人の息子が生まれ、
イスラエル12部族の先祖となった。



イスラエル民族は、エジプトに逃れ住み、奴隷として
過ごした400年で、一大民族に成長した。

イスラエルは、神に導かれてエジプトから脱出し、
約束の地へ向かった。

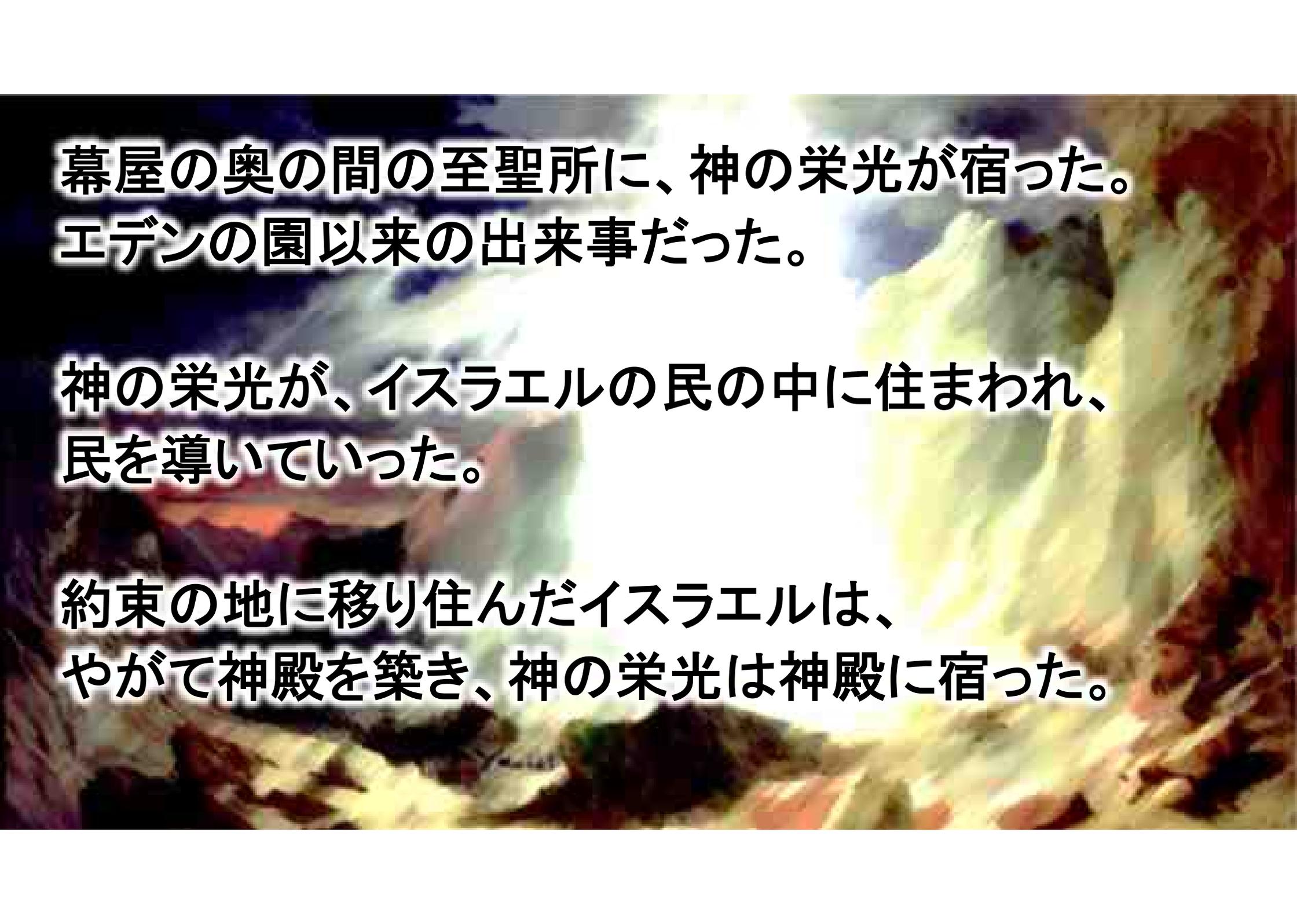


神は、シナイ山で、ご自身の栄光を表され、
イスラエルに律法を与えた。

民は、神の命令に従い、
主に言われたままに、
テントの神殿である
幕屋を建てた。

幕屋が完成したその時...





幕屋の奥の間の至聖所に、神の栄光が宿った。
エデンの園以来の出来事だった。

神の栄光が、イスラエルの民の中に住まわれ、
民を導いていった。

約束の地に移り住んだイスラエルは、
やがて神殿を築き、神の栄光は神殿に宿った。

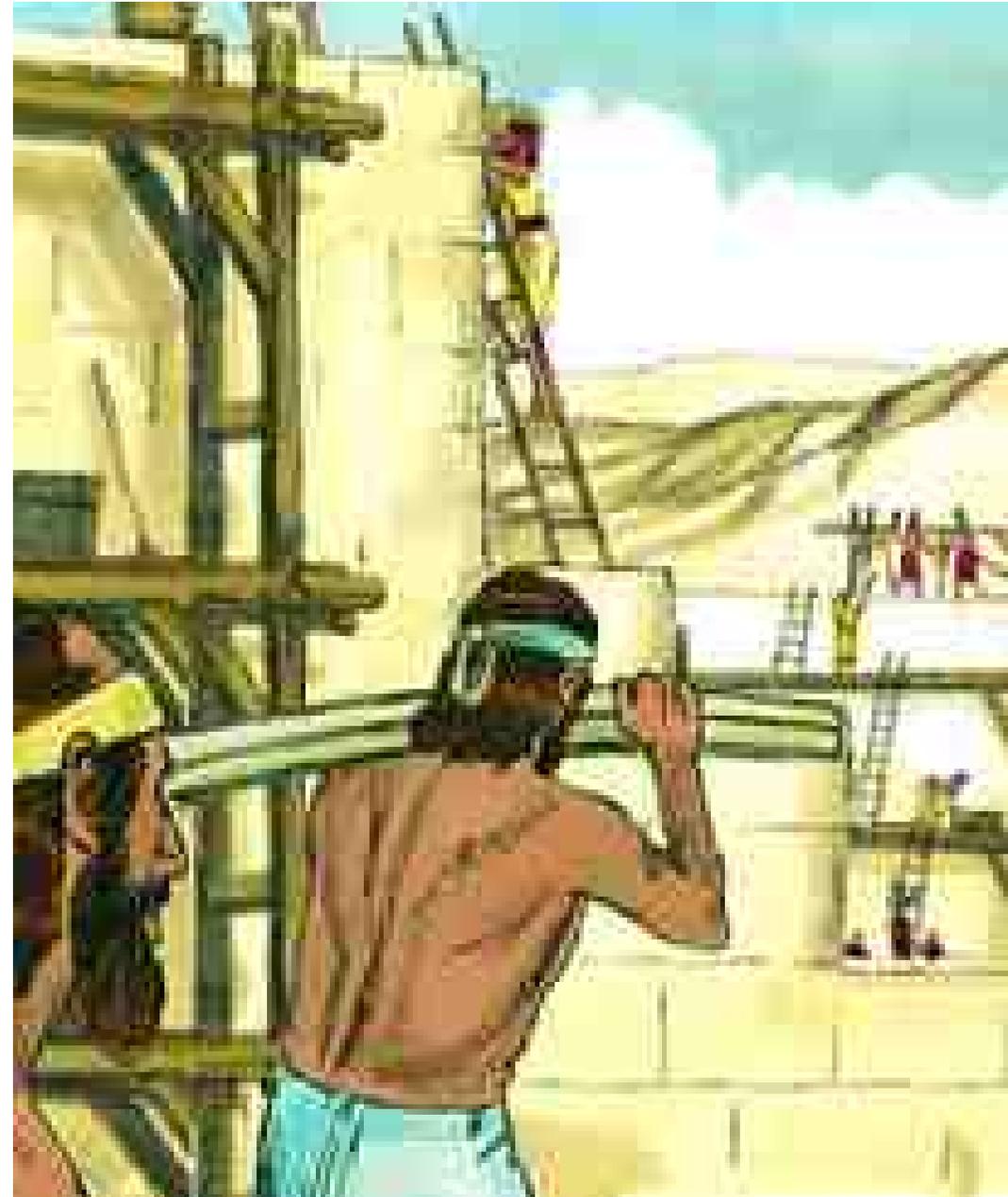
しかし、イスラエルは、神に背き、偶像礼拝に陥った。
民の罪の末に、神の栄光は、神殿を去ってしまふ。
ついに、エルサレムは、神殿もろともバビロニアに
滅ぼされた。人々は捕囚として連れて行かれた。



70年後、イスラエルは捕囚から解放された。

人々は少しずつエルサレムに帰還し、神殿を再建した。

しかし、再建した神殿に、神の栄光はなかった。



苦しみの中でも、イスラエルに残っていた信仰者を通し、メシアのことが、少しずつ明らかにされていった。

メシアは、

...イスラエルのユダ族から生まれる。創40:10

...ダビデ王の子孫から生まれる。サム下7:12

...ベツレヘムで生まれる。ミカ5:1

...処女(しよじよ)から生まれる。イザヤ7:14

メシアが、神の栄光を地上に回復される。

I. イエスの誕生

ルカ2:1~7



【住民登録】 ルカ1:1~2

2:1 そのころ、全世界の住民登録をせよ*という勅令が、皇帝アウグスト*から出た。

2:2 これは、クレニオがシリアの総督であったときの最初の住民登録であった。

* 徴税のためにローマ全土で人口調査を実施。

* **アウグスト** ...「大いなる者」(称号)

・カエサルの子、ローマ帝国初代皇帝に。

・名は、オクタヴィアヌス

⇒彼の名から、8月がAugustと変更された。

* **クレニオ**総督の二期目の時。



【ベツレヘムへの帰郷】 ルカ1:3～5

2:3 それで、人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に向かって行った。

2:4 ヨセフ*もガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘム*というダビデの町へ上って行った。彼は、ダビデ*の家系であり血筋でもあったので、

2:5 身重になっているいなずけの妻マリヤもいっしょに登録するためであった。

* **ヨセフ**は、人口登録のため、マリアを連れて先祖ダビデの町ベツレヘムへ帰郷した。

* **ベツレヘム**⇒エルサレムの南8kmにある小さな町。

* **ダビデ**は、イスラエルの偉大な王。

その子孫からメシアが誕生すると預言されていた。



【成就したミカ書*5章2節の預言】

ベツレヘム・エフラテよ。
あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、
あなたのうちから、わたしのために、
イスラエルの支配者になる者が出る。
その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。

*ミカは、イザヤと同時代の北王国の預言者

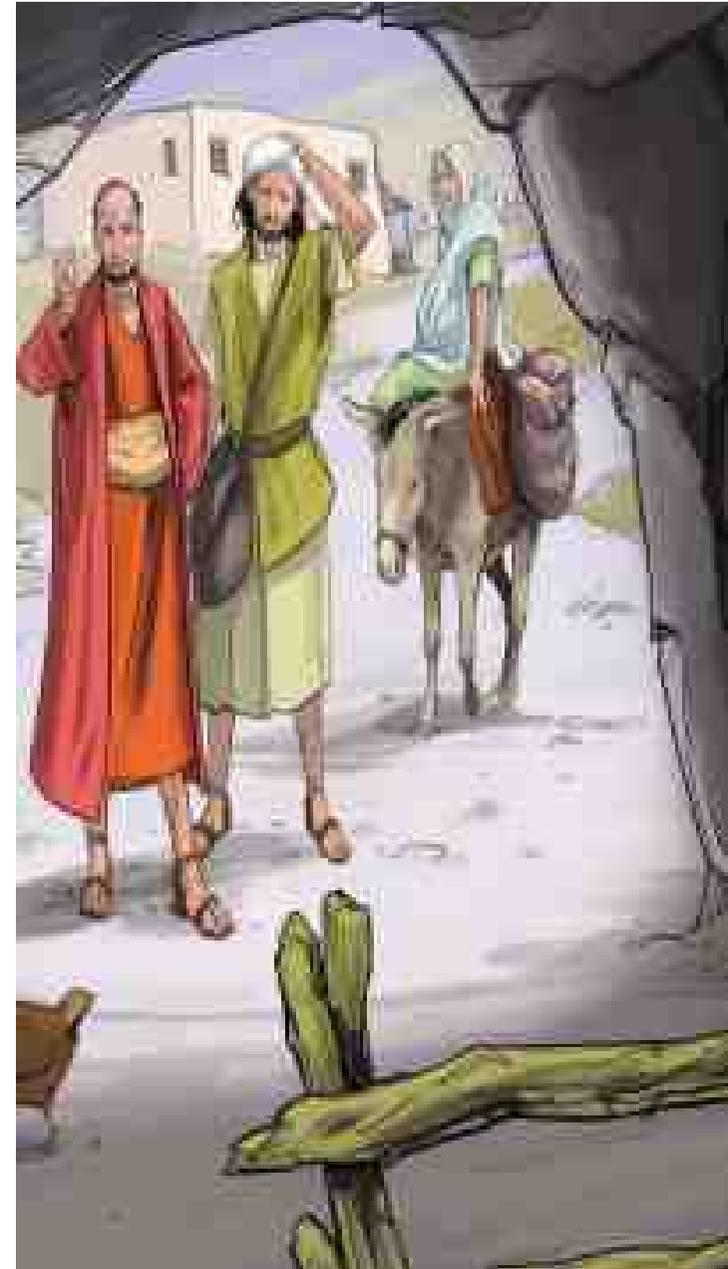
【イエスの誕生】 ルカ1:6~7

2:6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリヤは月が満ちて、男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋*には彼らのいる場所がなかったからである。

* **宿屋** ⇒カタリュマ。客間(口語訳)。

最後の晩餐の部屋も、カタリュマ。

- この時代、宿屋は都市にしかなかった。
誰かの家に泊めてもらうのが、一般的!!
- この地方には石灰岩の天然の洞窟が多く、
家畜小屋や墓地として使用されていた。



Ⅱ. 羊飼いの告知 ルカ2:8~14

エルサレムから見たベツレヘム
羊飼いの野

【ベツレヘムの羊飼いたち】 ルカ2:8～

さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿*で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。

* **野宿** ⇒ 温暖なイスラエルでは、
一年中、羊を追う羊飼いの姿が!!
雨期の12月は、むしろ放牧の季節。

■ ベツレヘム近郊では、神殿で献げるための子羊を飼っていたらしい?!

■ 過越祭で献げる子羊も飼っていた?

■ 洞窟の家畜小屋は、彼らの所有?



【羊飼いを職業にしていた聖徒たち】

■ アダムの息子アベル

■ イスラエルの祖先アブラハム⇒イサク⇒ヤコブ
⇒ヤコブの12人の息子たち

■ 偉大な王ダビデは、ベツレヘムに住む
羊飼いや一家の末っ子だった。

■ しかし、2千年前のイスラエルでは、
羊飼いは、蔑まれる存在になっていた。

■ 律法を学ばず?!、口伝律法に従わず、
無知で、貧しく、嘘つきと呼ばれ....。

その羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされる



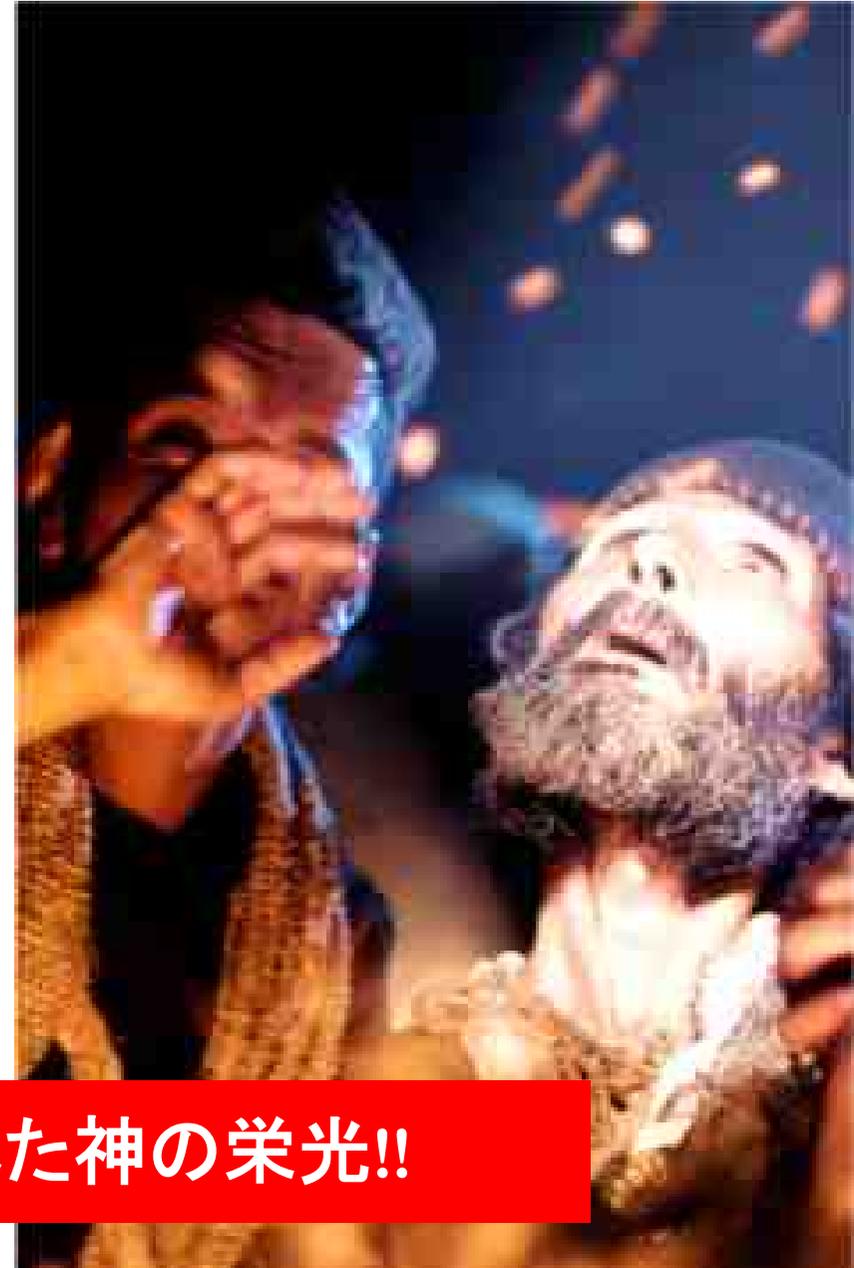
【天使の出現】 ルカ2:9～

すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光*が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。

* 主の栄光 ...シャカイナグローリー

■ イスラエルが偶像礼拝に陥った
預言者エゼキエルの時代に、
神殿を去った主の栄光。

実際に、500年ぶりに地上に現れた神の栄光!!



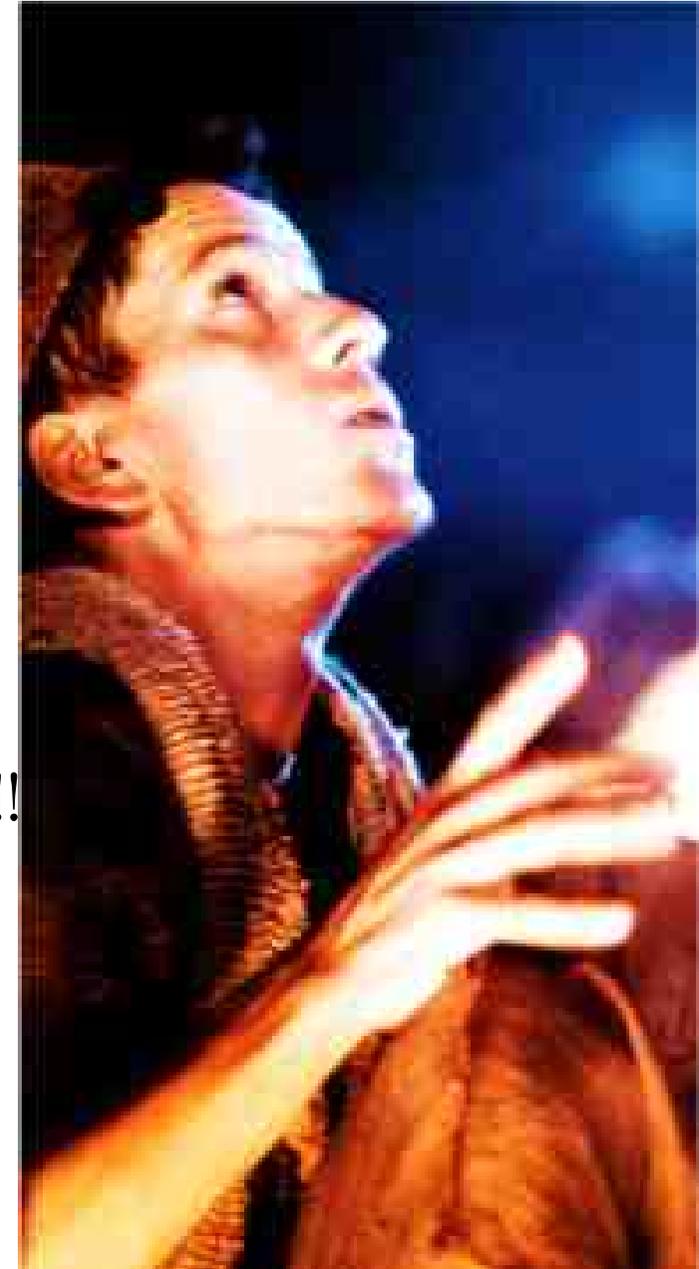
【天使の出現】 ルカ2:10～11

「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょう*ダビデの町で、あなたがたのために、救い主*がお生まれになりました。この方こそ主キリスト*です。」

* きょう ⇒ いにしえからの神の預言が成就した!!
歴史的瞬間を告げる言葉!!

* 救い主 = メシア = キリスト

* 主キリスト ⇒ ヤハウエ(神)なるキリスト!!
キリストは、人となられた神であるということ!!



【告げられたしるし】 ルカ2:12

「あなたがたは、布にくるまって*
飼葉おけに寝ておられるみどりごを
見つけます。これが、あなたがたの
ためのしるしです。」



* 布にくるんで ⇒ 当時の習慣。

死者の埋葬時も布で包んだ。

* 飼い葉桶 ⇒ この地方では、石製が一般的。木は貴重。

* しるし ⇒ 特異な姿だから、しるしとなる。

■ 天然の洞窟が多く、家畜小屋や墓地として使用されていた。

⇒ 家畜小屋も、羊飼いたちの所有？

A photograph of an ancient burial site. The scene is dimly lit, showing a stone platform and a stone coffin. The platform is a large, rectangular stone block with a slightly raised top. The coffin is a smaller, rectangular stone block with a pointed top, resting on the platform. The background is a rough, textured wall of earth and stone.

遺体の安置台

石棺

【当時の埋葬】

- ・墓地には、埋葬のための亜麻布があった。
- ・遺体は、布で巻かれ、1年安置された後、残った骨を石棺(骨壺)に移した。

【しるしに現れたメシアの使命】

布で巻かれ、
石の飼い葉桶に寝かされたメシア

その姿は、葬られる死者のよう!!

“イエス・キリストは、
私たちの罪を贖う犠牲の小羊として
十字架で死なれるために誕生された”



【人となられた神】 ピリピ2:6～8

「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。

人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。」



【天使たちの賛美】 ルカ2:13～14

すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢*が現れて、神を賛美して言った「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように」

* 天使たちの大軍勢が出現し、神の平和が宣言され、賛美が献げられた。

★神の栄光が、メシアとして地上に現れた。
信じる人々に、神との平和がもたらされる。





【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:15～16

御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。

「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」

そして急いで行って*、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごとを捜し当てた。

* **急いで** ⇒ただちに行動に移した羊飼いたち
場所の目星もついていた?!

■ 告知通りの幼子を見つけた羊飼いたち。

■ 主に従い、遣わされたからこそ、
メシアを見つけ出し、出会うことができた!!



【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:17～19

それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について告げられたことを知らせた*。それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに驚いた*。しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。

- * 知らせた ...メシアについて主が告げた通り
⇒私たちの伝道の原則も同じ!!
- * 驚いた ...人々が信じた、とはない。
⇒メシア誕生の知らせは広がらなかった。
- * 思い巡らす ...人々よりは、ずっとましたが、メシアの使命をまだ理解できないマリヤ。



【羊飼いたちの帰還】 ルカ2:20

「羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので*、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。」

* 御使いの話どおり ⇒それが神の約束だと確認した。
羊飼いたちは、預言の成就を目の当たりにし、
神の約束の確かさを味わい、神をあがめ、賛美した。

★賛美は、喜びは、どこから湧いてくるか？

- ①まず、主に従い、遣わされること。
- ②そして、主が言われた通りだと身をもって確認すること

聖書の通りだと、確認するところに喜びが生まれる!!



【イエスの命名】 ルカ2:21

「八日が満ちて幼子に割礼*を施す日となり、幼子はイエス*という名で呼ばれることになった。胎内に宿る前に御使いがつけた名である。」

* 割礼 ...イスラエルの男子に義務づけられた、
アブラハム契約のしるし。

「地上のすべての民族は、
あなたによって祝福される。」 創12:3

* イエス ...イエシュア 「主は救い」

■ ベツレヘムで誕生したユダヤ人の幼子こそ、
アブラハムに約束された、主メシアである。



A night scene of a city with a bright light source in the sky. The sky is dark blue with many stars. A bright, circular light source, possibly the moon or a star, is in the upper center, casting a soft glow. Below it, a cityscape is visible, with buildings and structures. The foreground is dark and blurry, suggesting a field or garden.

IV. まとめと適用
羊飼いたちのように
主の約束を身をもって味わおう

【暗闇の中の羊飼いたち】

夜番をする姿が現す、羊飼いたちの状況とは？

蔑まれ、イスラエルの周辺に置かれていた彼ら。

そこに、500年ぶりに主の栄光が輝き、
メシア誕生の喜びの知らせが告げられた。

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、
救い主がお生まれになりました。
この方こそ主キリストです。」



【天使の宣言に学ぶこと】

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、

①救い主がお生まれになりました。この方こそ②主・③キリストです。」

■ 私たちの主、イエス・キリストは、どういう方か？

①救い主 ... 罪人であるわたしを神の怒りから救ってくださる方。

②主(ヤハウエ) ... 私たちの神である方。

③キリスト ... メシア。(油注がれた者)という意味。

油注がれた、永遠に世界を治める**王**であり、

私たちの祈りを神にとりなしてくださる**祭司**である方。

王の王 主イエス・キリストは、再び地上に来られ、世界を回復される

【羊飼いたちが体験し、行ったこと】

- ①暗闇の中の羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされた。
- ②羊飼いたちは、神の言葉を信頼した。
- ③即、遣わされ、メシアを捜し当て、神の言葉を確認した。
- ④メシアの誕生を、人々に言い広めた。

【羊飼いたちに学ぼう！ 主に信頼し、行い、追体験しよう！】

- ①主イエス・キリストの十字架と復活の福音を受け取ろう！
- ②イエス・キリストこそ、私の救い主だと信頼しよう！
- ③福音を信じたならば、主に遣わされていていこう！
一歩踏み出す時、主が約束の確かさを味わわせてくださる。
喜びは、そこから沸いてくる。救われた喜びが、私を変えていく！
- ④人々に福音をただそのままに伝えよう。結果は主に委ねよう。

【今の教会時代への適用】

①主は、キリストの弟子である信者を派遣される。

今の教会時代は、福音を宣べ伝え、信じる人が起こされる時。

②主に派遣されていく先に、飢え乾く魂との出会いがある。

③派遣されたその場で、福音を伝える。救われる魂が起こされる。

弟子の使命は、遣わされ、福音を伝えること。

結果は、主ご自身が負われる。実りはすべて神のもの。

※必要なものは、主が満たしてくださる。

伝道に必要なものも。個人的生活の必要も。試練の逃れの道も。

【主の使命を受け取るために!!】

①主の前に静まる時を持つ!!

* 一日の始まる前、朝一番のデボーションは最適♪

②御言葉に聴こう

* 聖書から、変わらない救いと成長の原則を、繰り返し確認しよう。

* 神のご計画を知り、今の時代の教会の使命を理解しよう。

③状況から聴き取ろう

* 聞かれない祈りも大切。なぜ聞かれないのか？

* 別な道がある?! 一歩下がって自分の状況を俯瞰する時も大切。

■ 閉ざされる道があり、開かれる道がある。

困難に見えるその道こそ、歩みだすべき道かもしれない。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

羊飼(ひつじか)いたちのように、真実(しんじつ)に
主(しゅ)イエスと 出会(であ)わせてください。

福音(ふくいん)を伝(つた)える者(もの)として、わたしを
遣(つか)わしてください。よろこびを味(あじ)わわせてください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの
御名(みな)によって 祈(いの)ります。アーメン」

②
ポイント

メシアの聖誕②

「地上に輝く
神の栄光」

～羊飼いの天使の知らせ～



【今日のアウトライン】

0. 神の栄光と 救いの計画

I. イエスの誕生

II. 羊飼いへの告知

III. 幼子メシアの礼拝

IV. まとめと適用

羊飼いたちのように
身をもって
主の約束を味わおう





0. 神の栄光と救いの計画
～すべては十字架に向かって～

創世記1:3

「神は仰せられた。『光があれ』すると光があった。

この光は、

神の栄光の光

“シャカイナ・グローリー”

世界は、神の栄光に満ち、

人は、神の栄光と共に住んでいた。

しかし、人が、神の約束を破り、罪を犯した時、神の栄光は、人から去ってしまった。



聖書の最大のテーマは、

「神の栄光」

(「シャカイナグロリー」)

その地上での喪失と回復

天地創造

創世記1章1節

地の再創造(エデン)

創世記1章3〜2章3節

天使の墮落→

キリストの十字架

最初のアダム
人の墮落→

最後のアダム
キリストの
← 再臨

キリストによる
←最後の裁き

千年王国(エデンの回復)

現在(教会時代)

新天新地

黙示録21〜22章



神は、人間を見捨てず、メシアを送ると約束された。

【原福音】 創3:15

「お前と女、お前の子孫と
女の子孫の間に
わたしは敵意を置く。
彼は お前の頭を砕き
お前は 彼のかかとを砕く。」



メシアは、神の栄光そのものとして来られ、
信じる者に、神の栄光を回復してくださる。

人間は、罪を重ね、
自ら神になろうとし、
神に背き続けた。

人間の良心も、人間の
国家も、地上に平和
をつくりだすことはでき
なかった。



神は、アブラハムという無名の人物を選び、約束された。

「地上の氏族はすべて
あなたによって祝福に入る。創12:3」

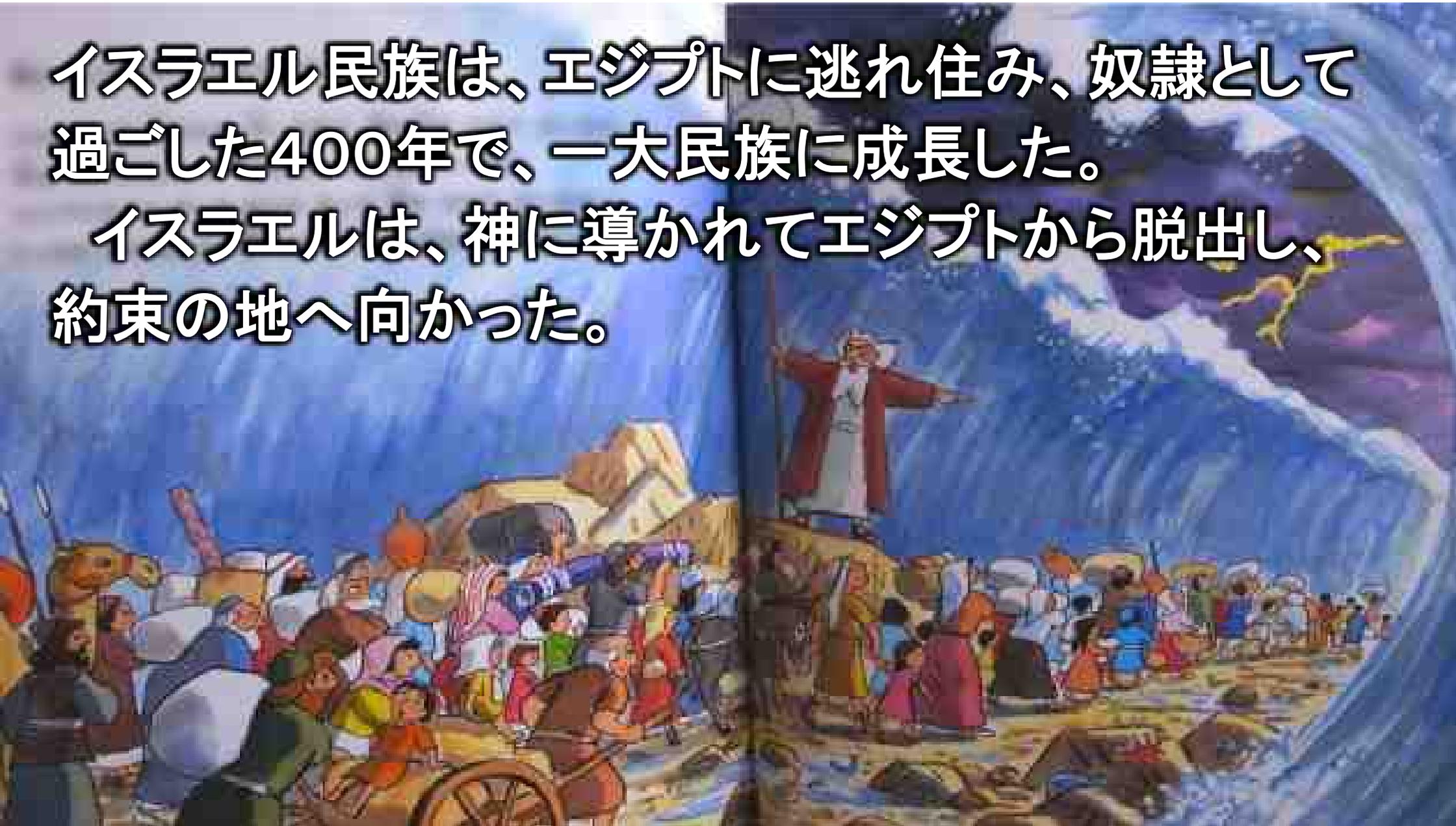
一人の人から、一つの民族を生み、
その子孫から、メシアを誕生させ、
人類を救いに導く。それが神の計画。

アブラハム、二代目イサク、三代目ヤコブ。
ヤコブから12人の息子が生まれ、
イスラエル12部族の先祖となった。



イスラエル民族は、エジプトに逃れ住み、奴隷として
過ごした400年で、一大民族に成長した。

イスラエルは、神に導かれてエジプトから脱出し、
約束の地へ向かった。

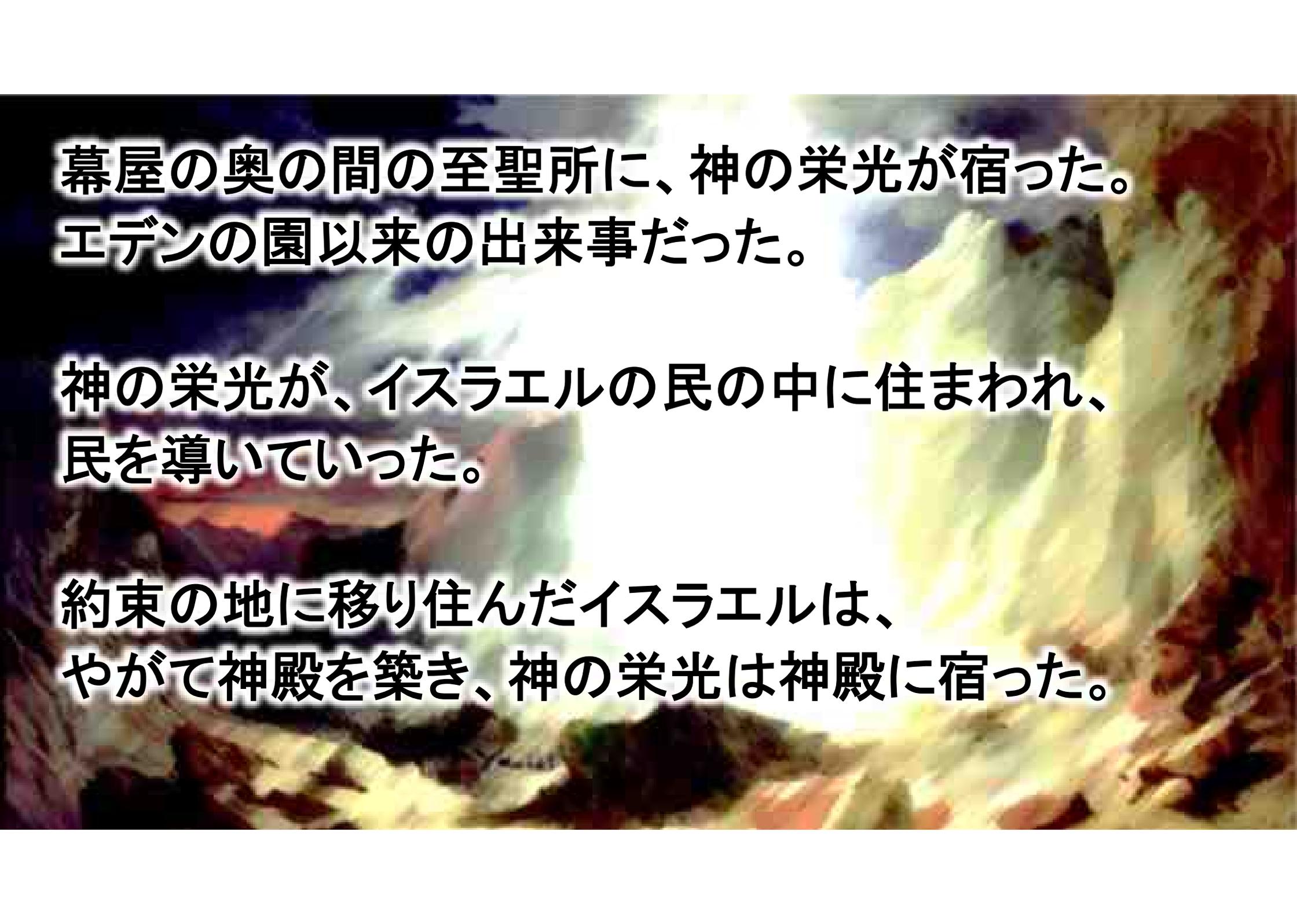


神は、シナイ山で、ご自身の栄光を表され、
イスラエルに律法を与えた。

民は、神の命令に従い、
主に言われたままに、
テントの神殿である
幕屋を建てた。

幕屋が完成したその時...





幕屋の奥の間の至聖所に、神の栄光が宿った。
エデンの園以来の出来事だった。

神の栄光が、イスラエルの民の中に住まわれ、
民を導いていった。

約束の地に移り住んだイスラエルは、
やがて神殿を築き、神の栄光は神殿に宿った。

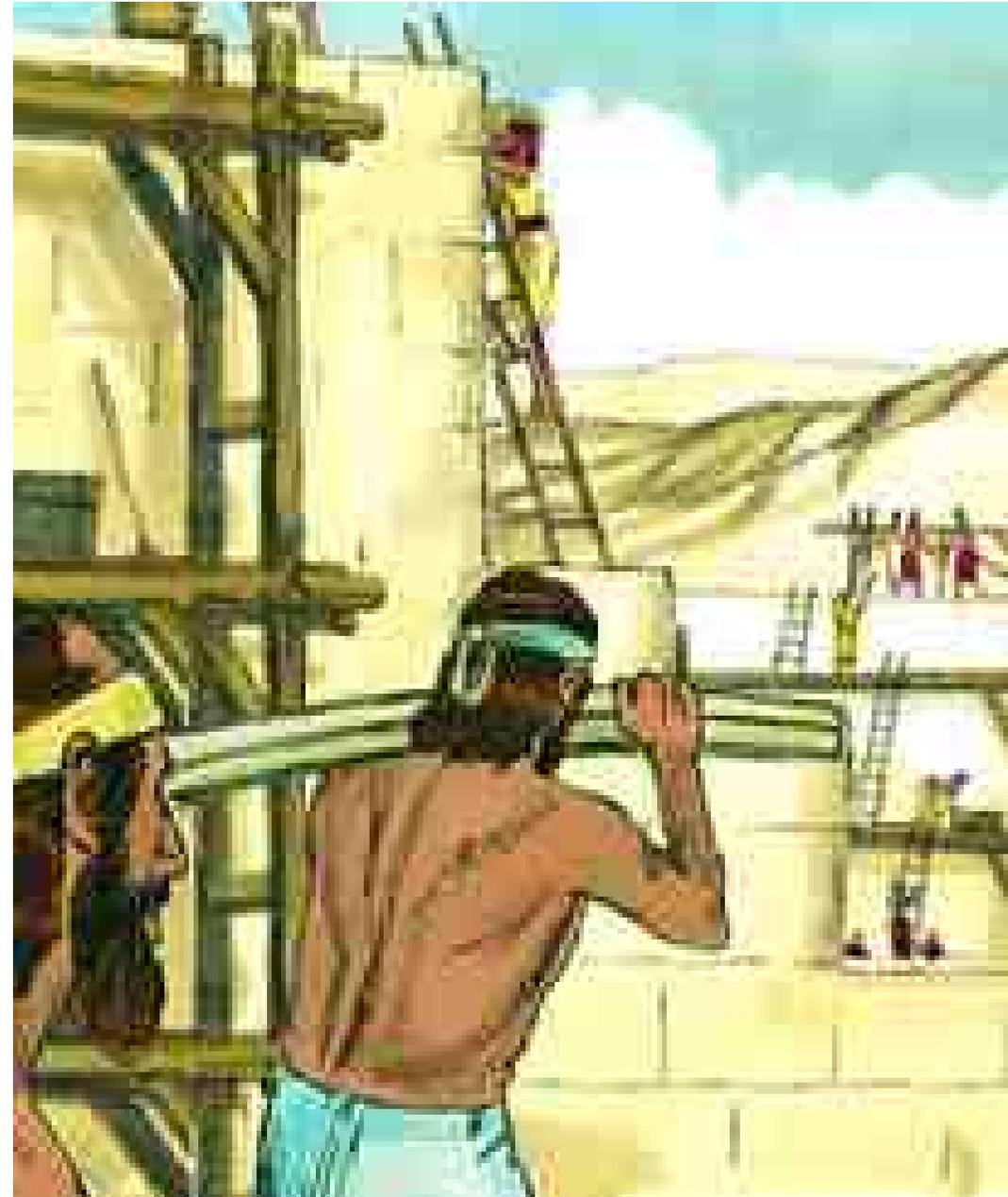
しかし、イスラエルは、神に背き、偶像礼拝に陥った。
民の罪の末に、神の栄光は、神殿を去ってしまう。
ついに、エルサレムは、神殿もろともバビロニアに
滅ぼされた。人々は捕囚として連れて行かれた。



70年後、イスラエルは捕囚から解放された。

人々は少しずつエルサレムに帰還し、神殿を再建した。

しかし、再建した神殿に、神の栄光はなかった。



苦しみの中でも、イスラエルに残っていた信仰者を通し、メシアのことが、少しずつ明らかにされていった。

メシアは、

...イスラエルのユダ族から生まれる。創40:10

...ダビデ王の子孫から生まれる。サム下7:12

...ベツレヘムで生まれる。ミカ5:1

...処女(しよじよ)から生まれる。イザヤ7:14

メシアが、神の栄光を地上に回復される。

I. イエスの誕生

ルカ2:1~7



【住民登録】 ルカ1:1~2

2:1 そのころ、全世界の住民登録をせよ*という勅令が、皇帝アウグスト*から出た。

2:2 これは、クレニオがシリアの総督であったときの最初の住民登録であった。

* 徴税のためにローマ全土で人口調査を実施。

* **アウグスト** ...「大いなる者」(称号)

・カエサルの死後、ローマ帝国初代皇帝に。

・名は、オクタヴィアヌス

⇒彼の名から、8月がAugustと変更された。

* **クレニオ**総督の二期目の時。



【ベツレヘムへの帰郷】 ルカ1:3～5

2:3 それで、人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に向かって行った。

2:4 ヨセフ*もガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘム*というダビデの町へ上って行った。彼は、ダビデ*の家系であり血筋でもあったので、

2:5 身重になっているいなずけの妻マリヤもいっしょに登録するためであった。

* **ヨセフ**は、人口登録のため、マリアを連れて先祖ダビデの町ベツレヘムへ帰郷した。

* **ベツレヘム**⇒エルサレムの南8kmにある小さな町。

* **ダビデ**は、イスラエルの偉大な王。

その子孫からメシアが誕生すると預言されていた。



【成就したミカ書*5章2節の預言】

ベツレヘム・エフラテよ。
あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、
あなたのうちから、わたしのために、
イスラエルの支配者になる者が出る。
その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。

*ミカは、イザヤと同時代の北王国の預言者

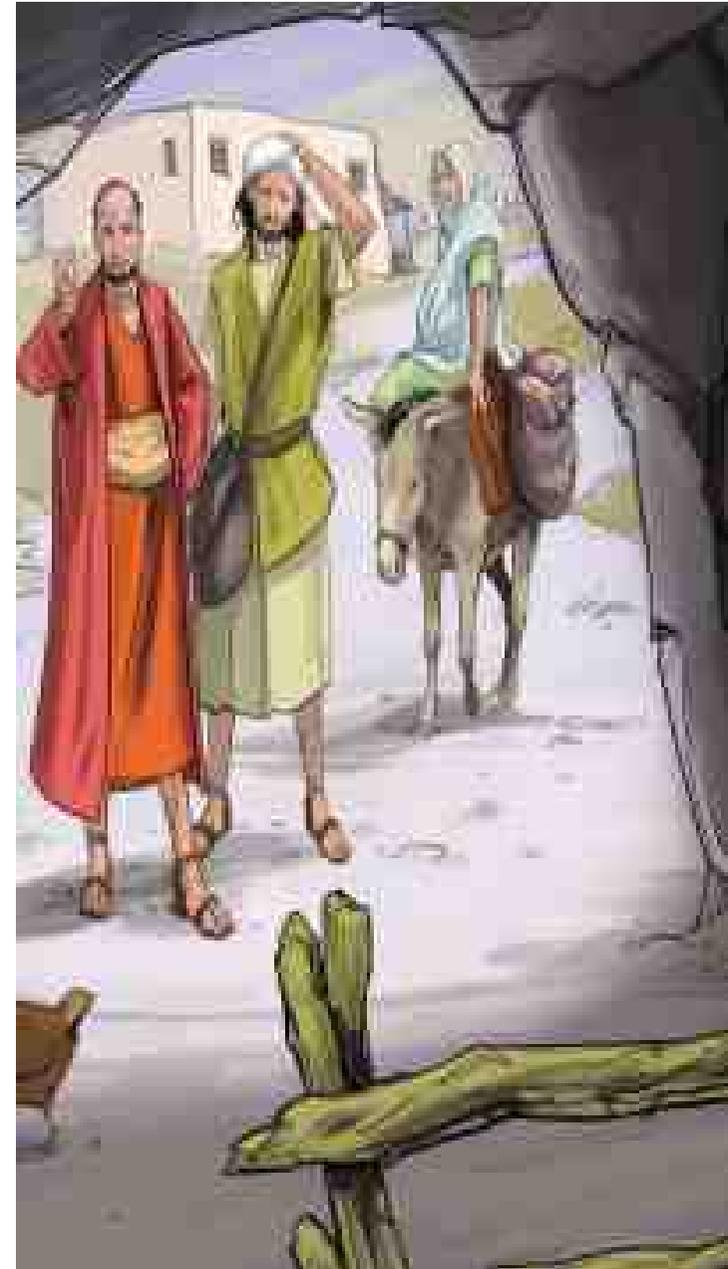
【イエスの誕生】 ルカ1:6~7

2:6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリヤは月が満ちて、男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋*には彼らのいる場所がなかったからである。

* 宿屋 ⇒カタリュマ。客間(口語訳)。

最後の晩餐の部屋も、カタリュマ。

- この時代、宿屋は都市にしかなかった。
誰かの家に泊めてもらうのが、一般的!!
- この地方には石灰岩の天然の洞窟が多く、
家畜小屋や墓地として使用されていた。



Ⅱ. 羊飼いの告知 ルカ2:8~14

エルサレムから見たベツレヘム
羊飼いの野

【ベツレヘムの羊飼いたち】 ルカ2:8～

さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿*で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。

* **野宿** ⇒ 温暖なイスラエルでは、
一年中、羊を追う羊飼いの姿が!!
雨期の12月は、むしろ放牧の季節。

■ ベツレヘム近郊では、神殿で献げるための子羊を飼っていたらしい?!

■ 過越祭で献げる子羊も飼っていた?

■ 洞窟の家畜小屋は、彼らの所有?



【羊飼いを職業にしていた聖徒たち】

■ アダムの息子アベル

■ イスラエルの祖先アブラハム⇒イサク⇒ヤコブ
⇒ヤコブの12人の息子たち

■ 偉大な王ダビデは、ベツレヘムに住む
羊飼いや一家の末っ子だった。

■ しかし、2千年前のイスラエルでは、
羊飼いは、蔑まれる存在になっていた。

■ 律法を学ばず?!、口伝律法に従わず、
無知で、貧しく、嘘つきと呼ばれ....。

その羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされる



【天使の出現】 ルカ2:9～

すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光*が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。

* 主の栄光 ...シャカイナグローリー

■ イスラエルが偶像礼拝に陥った
預言者エゼキエルの時代に、
神殿を去った主の栄光。

実際に、500年ぶりに地上に現れた神の栄光!!



【天使の出現】 ルカ2:10~11

「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょう*ダビデの町で、あなたがたのために、救い主*がお生まれになりました。この方こそ主キリスト*です。」

* きょう ⇒ いにしえからの神の預言が成就した!!
歴史的瞬間を告げる言葉!!

* 救い主 = メシア = キリスト

* 主キリスト ⇒ ヤハウエ(神)なるキリスト!!
キリストは、人となられた神であるということ!!



【告げられたしるし】 ルカ2:12

「あなたがたは、布にくるまって*
飼葉おけに寝ておられるみどりごを
見つけます。これが、あなたがたの
ためのしるしです。」



* 布にくるんで ⇒ 当時の習慣。

死者の埋葬時も布で包んだ。

* 飼い葉桶 ⇒ この地方では、石製が一般的。木は貴重。

* しるし ⇒ 特異な姿だから、しるしとなる。

■ 天然の洞窟が多く、家畜小屋や墓地として使用されていた。

⇒ 家畜小屋も、羊飼いたちの所有？

A photograph of an ancient burial site. The scene is dimly lit, showing a stone platform and a stone coffin. The platform is a large, flat, rectangular stone slab. The coffin is a tall, narrow, rectangular stone structure with a pointed top. The background is a rough, textured wall of earth or stone.

遺体の安置台

石棺

【当時の埋葬】

- ・墓地には、埋葬のための亜麻布があった。
- ・遺体は、布で巻かれ、1年安置された後、残った骨を石棺(骨壺)に移した。

【しるしに現れたメシアの使命】

布で巻かれ、
石の飼い葉桶に寝かされたメシア

その姿は、葬られる死者のよう!!

“イエス・キリストは、
私たちの罪を贖う犠牲の小羊として
十字架で死なれるために誕生された”



【人となられた神】 ピリピ2:6~8

「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。

人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。」



【天使たちの賛美】 ルカ2:13～14

すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢*が現れて、神を賛美して言った「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように」

* 天使たちの大軍勢が出現し、神の平和が宣言され、賛美が献げられた。

★神の栄光が、メシアとして地上に現れた。
信じる人々に、神との平和がもたらされる。





【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:15～16

御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。

「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」

そして急いで行って*、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごとを捜し当てた。

* **急いで** ⇒ただちに行動に移した羊飼いたち
場所の目星もついていた?!

■ 告知通りの幼子を見つけた羊飼いたち。

■ 主に従い、遣わされたからこそ、
メシアを見つけ出し、出会うことができた!!



【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ2:17～19

それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について告げられたことを知らせた*。それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに驚いた*。しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。

- * **知らせた** ...メシアについて主が告げた通り
⇒私たちの伝道の原則も同じ!!
- * **驚いた** ...人々が信じた、とはない。
⇒メシア誕生の知らせは広がらなかった。
- * **思い巡らす** ...人々よりは、ずっとましたが、メシアの使命をまだ理解できないマリヤ。



【羊飼いたちの帰還】 ルカ2:20

「羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので*、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。」

* 御使いの話どおり ⇒それが神の約束だと確認した。
羊飼いたちは、預言の成就を目の当たりにし、
神の約束の確かさを味わい、神をあがめ、賛美した。

★賛美は、喜びは、どこから湧いてくるか？

- ①まず、主に従い、遣わされること。
- ②そして、主が言われた通りだと身をもって確認すること

聖書の通りだと、確認するところに喜びが生まれる!!



【イエスの命名】 ルカ2:21

「八日が満ちて幼子に割礼*を施す日となり、幼子はイエス*という名で呼ばれることになった。胎内に宿る前に御使いがつけた名である。」

* 割礼 ...イスラエルの男子に義務づけられた、
アブラハム契約のしるし。

「地上のすべての民族は、
あなたによって祝福される。」 創12:3

* イエス ...イエシュア 「主は救い」

■ ベツレヘムで誕生したユダヤ人の幼子こそ、
アブラハムに約束された、主メシアである。



A night scene of a city with a bright light source in the sky. The sky is dark blue with many stars. A bright, glowing light source is visible in the upper center, casting a soft glow over the city below. The city is illuminated with a blueish light, and the buildings are visible in the foreground. The overall atmosphere is serene and contemplative.

IV. まとめと適用
羊飼いたちのように
主の約束を身をもって味わおう

【暗闇の中の羊飼いたち】

夜番をする姿が現す、羊飼いたちの状況とは？

蔑まれ、イスラエルの周辺に置かれていた彼ら。

そこに、500年ぶりに主の栄光が輝き、
メシア誕生の喜びの知らせが告げられた。

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、
救い主がお生まれになりました。
この方こそ主キリストです。」



【天使の宣言に学ぶこと】

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、

①救い主がお生まれになりました。この方こそ②主・③キリストです。」

■ 私たちの主、イエス・キリストは、どういう方か？

①救い主 ... 罪人であるわたしを神の怒りから救ってくださる方。

②主(ヤハウエ) ... 私たちの神である方。

③キリスト ... メシア。(油注がれた者)という意味。

油注がれた、永遠に世界を治める**王**であり、

私たちの祈りを神にとりなしてくださる**祭司**である方。

王の王 主イエス・キリストは、再び地上に来られ、世界を回復される

【羊飼いたちが体験し、行ったこと】

- ①暗闇の中の羊飼いたちに、メシア誕生の知らせがもたらされた。
- ②羊飼いたちは、神の言葉を信頼した。
- ③即、遣わされ、メシアを捜し当て、神の言葉を確認した。
- ④メシアの誕生を、人々に言い広めた。

【羊飼いたちに学ぼう！ 主に信頼し、行い、追体験しよう！】

- ①主イエス・キリストの十字架と復活の福音を受け取ろう！
- ②イエス・キリストこそ、私の救い主だと信頼しよう！
- ③福音を信じたならば、主に遣わされていていこう！
一歩踏み出す時、主が約束の確かさを味わわせてくださる。
喜びは、そこから沸いてくる。救われた喜びが、私を変えていく！
- ④人々に福音をただそのままに伝えよう。結果は主に委ねよう。

【今の教会時代への適用】

①主は、キリストの弟子である信者を派遣される。

今の教会時代は、福音を宣べ伝え、信じる人が起こされる時。

②主に派遣されていく先に、飢え乾く魂との出会いがある。

③派遣されたその場で、福音を伝える。救われる魂が起こされる。

弟子の使命は、遣わされ、福音を伝えること。

結果は、主ご自身が負われる。実りはすべて神のもの。

※必要なものは、主が満たしてくださる。

伝道に必要なものも。個人的生活の必要も。試練の逃れの道も。

【主の使命を受け取るために!!】

①主の前に静まる時を持つ!!

* 一日の始まる前、朝一番のデボーションは最適♪

②御言葉に聴こう

* 聖書から、変わらない救いと成長の原則を、繰り返し確認しよう。

* 神のご計画を知り、今の時代の教会の使命を理解しよう。

③状況から聴き取ろう

* 聞かれない祈りも大切。なぜ聞かれないのか？

* 別な道がある?! 一歩下がって自分の状況を俯瞰する時も大切。

■ 閉ざされる道があり、開かれる道がある。

困難に見えるその道こそ、歩みだすべき道かもしれない。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

羊飼(ひつじか)いたちのように、真実(しんじつ)に
主(しゅ)イエスと 出会(であ)わせてください。

福音(ふくいん)を伝(つた)える者(もの)として、わたしを
遣(つか)わしてください。よろこびを味(あじ)わわせてください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの
御名(みな)によって 祈(いの)ります。アーメン」